DR750-2CH LTE
マニュアル

日本語

www.blackvue.com

目次

はじめに

Pittasoft Co., Ltd. の BlackVue ドライブレコーダーを購入して頂き、誠にありがとうございます。

本取扱説明書にはドライブレコーダーの操作方法が説明されています。

ドライブレコーダーを使い始める前に本取扱説明書を読んでいただき、正しい使い方を確認してください。

製品の性能を改善するため、本取扱説明書の内容を予告なく変更することがあります。

注

- 最初BlackVueドライブレコーダーを購入すると、フォーマット済みのmicroSDカードが付属しています。microSDカードをドライブレコーダーに挿入し、電源を入れます。microSDカードが初期化されます。

主な安全上の情報

ユーザーの安全と器物の損傷防止を図るため、本取扱説明書を熟読して、安全指示に従い、ドライブレコーダーを正しく使用してください。

危険　以下の指示に従わなかった場合、使用者が死亡したり、器物損傷が発生する恐れがあります。

- **ご自分で本製品を分解、修理、改造しないでください。**
  火災や感電、故障の原因となります。内部の点検や修理はサービスセンターにお問い合わせください。
- **本製品の中に異物が侵入した場合、直ちに電源コードを抜いてください。**
  サービスセンターに修理を依頼してください。
- **運転中にドライブレコーダーを調整しないでください。**
  事故の原因となります。本製品の取付や設定を行う前に、安全な場所に駐車してください。
- **運転者の視界の妨げになる場所に本製品を取り付けないでください。**
  事故の原因となります。
- **破損したり改造された電源コードは使用しないでください。メーカーより提供された電源コードのみをお使いください。**
  破損したり改造された電源コードは、爆発や火災や動作不良の原因となります。
- **濡れた手で本製品を操作しないでください。**
  感電の原因となります。
- **本製品を湿度の高い場所や、燃焼性のガスおよび液体のある場所に取り付けないでください。**
  爆発や火災の原因となります。

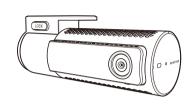
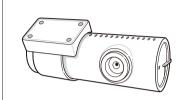
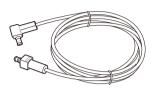
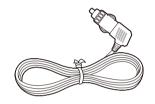
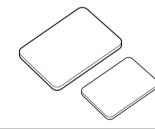
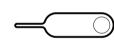
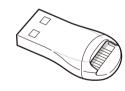
警告 以下の指示に従わなかった場合、使用者が死亡したり、重傷を負う恐れがあります。

- **幼児や子供やペットの手の届かない場所に保管してください。**
  小さな部品を飲み込んだり、製品内に唾液が浸入して短絡し爆発することがあります。
- **車内の清掃中に、本製品に直接水やワックスを吹き付けないでください。**
  火災や感電、故障の原因となります。
- **電源コードから発煙したり、異臭が出た場合には、直ちに電源コードを抜いてください。**
  サービスセンターまたは販売店にご連絡ください。
- **電源コードの端子を清潔な状態に維持してください。**
  過熱や火災の原因になります。
- **適切な入力電圧を使用してください。**
  爆発や火災、動作不良の原因になります。
- **簡単に抜けないように、電源コードをしっかりと差し込んでください。**
  火災の原因になります。
- **他の物で本製品を被せないでください。**
  本製品が変形したり、火災が発生することがあります。本製品や周辺機器は、風通しのよい場所で使用してください。

注意　　以下の指示に従わなかった場合、使用者が怪我を負ったり、器物損傷が発生する恐れがあります。

- **本製品に直接洗浄液をかけないでください。**
  変色や割れ、動作不良の原因となります。
- **本製品を適切な温度範囲 (-20℃～70℃/-4゜F～158゜F) 外で使用した場合、性能が低下したり、動作不良になることがあります。**
- **本製品が適切に取り付けられていることを確認してください。**
  適切に取り付けられていない場合、振動で本製品が落下したり、使用者が怪我をすることがあります。
- **トンネルを出入りする際や正面から日光が当たる際、夜間に照明のない場所で撮影する際には、録画の画質が低下することがあります。**
- **事故で本製品が破損したり電源コードが切断した場合には、録画されません。**
- **濃い色のついた窓ガラス越しに撮影した場合、録画画像が歪んだり、不明瞭なことがあります。**
- **本製品を長時間使用した場合、車内温度が上昇したり火傷をする恐れがあります。**
- **microSDカードは消耗品ですので、長期間使用したら交換してください。**
  microSDカードを長期間使用すると、録画できなくなることがありますので定期的にmicroSDカードの録画能力を確認して、必要に応じて交換してください。
- **定期的にレンズを清掃してください。**
  レンズに異物が付着していると、録画画質が低下します。
- **microSDカードがデータを保存、記録している間はmicroSDカードを取り出さないでください。**
  データが壊れたり、動作不良になることがあります。
- **ソフトウェアやファームウェアはBlackVueダウンロードページ (www.blackvue.com)からインストールすることをおすすめします。**
- **本製品 (BlackVue ドライブレコーダー/駐車モードハードワイヤリングキット) を長期間使用しない場合には、電源コードを抜くことをおすすめします。**

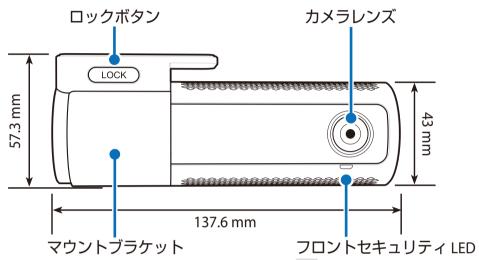
構成品

BlackVueドライブレコーダーを取り付ける前に、以下の付属品が同梱されているか確認してください。

	フロントカメラ		リアカメラ		リアカメラ 接続ケーブル
	電源コード		クイックスタート ガイド		プライツール
	マウントブラケット 両面テープ		ケーブルクリップ (8 EA)		SIMカード 取り出しピン
	microSDカード リーダー		microSDカード		SIMカード (オプション)

注

- マニュアルのイラストは、実際の製品と異なる場合があります。
- 製品の性能を改善するため、本取扱説明書の内容を予告なく変更することがあります。
- 部品やアクセサリの詳細については、BlackVueのウェブサイト (**www.blackvue.com**) をご覧ください。

取り付ける前に

以下の図では、BlackVueドライブレコーダーの各部名称と機能を説明します。

フロントカメラ

: 常時録画モード、タイムラプス駐車モード、タイムラプス録画及び、駐車モードでのモーション検知スタンバイ時に点灯します。

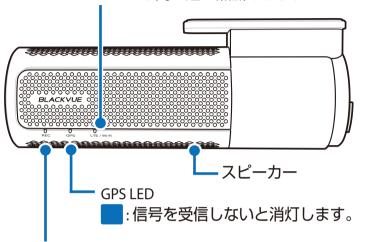
: (i) 常時録画モード、マニュアルモード、イベントモードの録画スタンバイ時、及び(ii) 駐車モード中のタイムラプス/モーション検知のスタンバイ時に、ゆっくり点滅します。

LTE/Wi-Fi LED

- : LTEが接続されています。
- : LTEの接続が解除されています。
- : Wi-Fiが接続されています。
- : Wi-Fiへの接続中はゆっくり点滅します。(i) 機能エラーまたは (ii) LTE/Wi-Fiがオフしている間は速く点滅します。

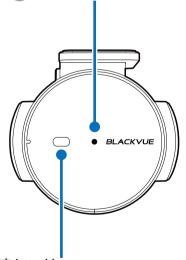
スピーカー

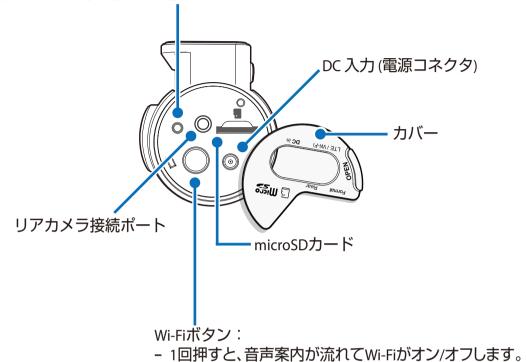
GPS LED

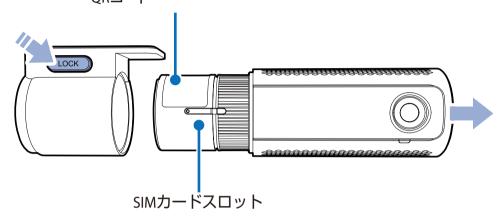
- : 信号を受信しないと消灯します。

録画LED

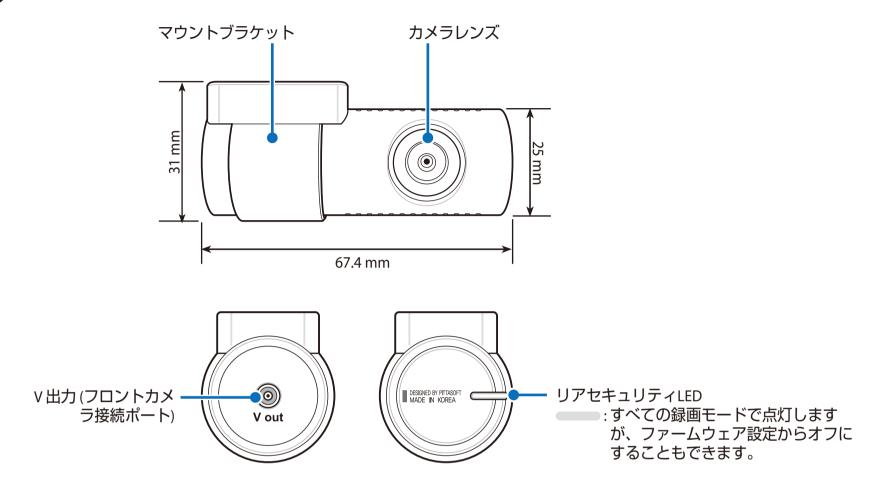
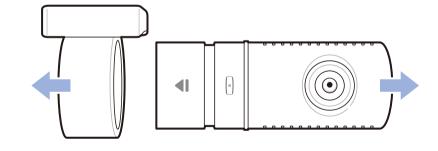
- : 常時録画モードではオレンジ色で点灯します。
- : 録画スタンバイ中はオレンジ色で点滅します。
- : マニュアルモードとイベントモードでは赤で点灯します。
- : 駐車モードでのタイムラプス及びモーション検知の際には緑で点灯します。

近接センサーLED

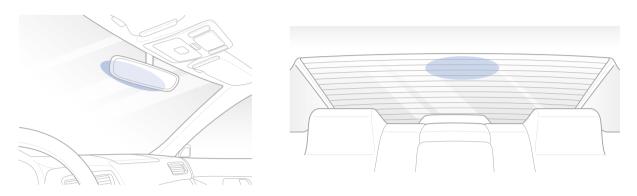
- : 近接センサーが起動すると点灯します。

近接センサー：
センサーに触れたり、センサーの20 mm以内で手をかざすと、下記機能中選択された機能が起動します。利用可能なオプション：
- 録音のオン･オフ(初期設定)
- マニュアル録画の起動
センサーを完全にオフにすることもできます。

フォーマットボタン：
- 5 秒間長押しした後、音声案内が流れたら、ボタンから手を離してください。続いてもう一度5 秒以上長押しすると、microSD カードをフォーマットします。

Wi-Fiボタン：
- 1回押すと、音声案内が流れてWi-Fiがオン/オフします。

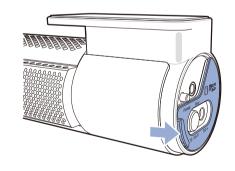
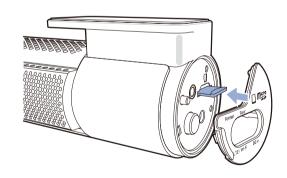
フロントカメラの脱着

- ブラケットからドライブレコーダーを取り外すには、LOCK ボタンを押し、取付ブラケットからドライブレコーダーを引き出してください。
- ブラケットにドライブレコーダーを挿入するには、「カチャッ」と音がするまで、取付ブラケットにドライブレコーダーを押し入れてください。
- LTEサービスを使用するにはSIMカードスロットにSIMカードを挿入してください。

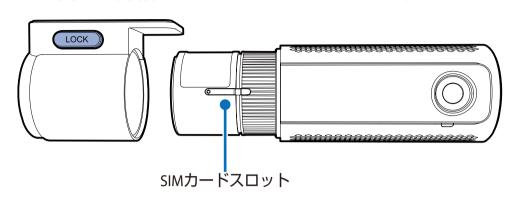
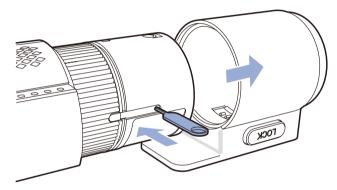
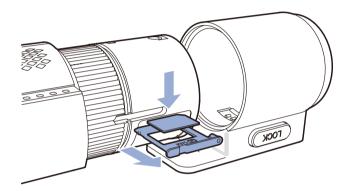
リアカメラ

リアカメラの脱着

- マウントブラケットからリアカメラを取り外すには、ブラケットを持ってリアカメラを引き出してください。
- マウントブラケットにリアカメラを挿入するには、「カチャッ」と音がするまで、ブラケットにリアカメラを押し入れてください。

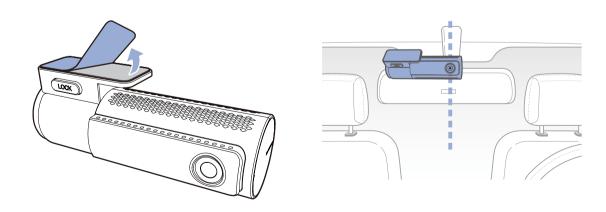
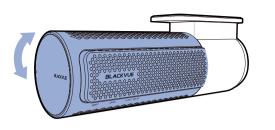
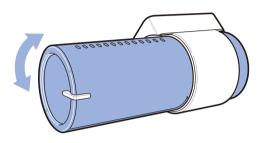
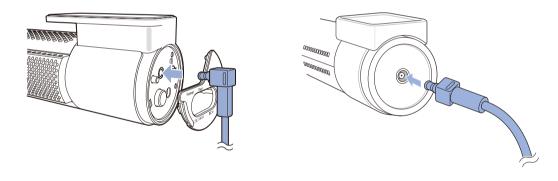
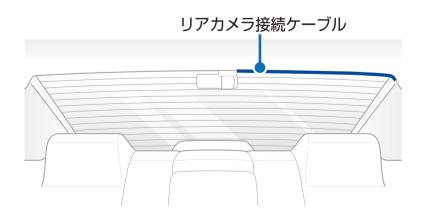
BlackVue ドライブレコーダーの取り付け

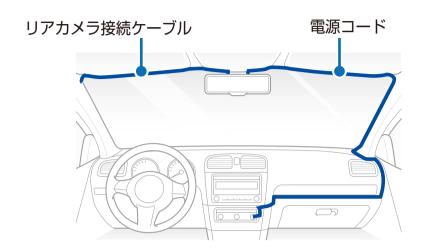
フロントカメラをルームミラーの後ろに取り付けます。リアカメラをリアガラスの上部に取り付けます。取り付ける前に、フロントガラスの汚れをきれいに拭き取り、乾かしてください。

警告

- 運転中の視界の妨げになるような場所には取り付けないでください。

1 車のエンジンを止めます。microSDカードスロットのカバーを開けて、microSDカードをスロットに固定するまでゆっくりと挿入し、カバーを閉じます。

2 SIMカードを挿入するには、まずフロントカメラからマウントブラケットを取り外してください。その次にSIMカード取り出しピンでSIMスロットを開けます。

注
SIMカードのアクティベーションに関する詳細は、93ページと94ページをご覧ください。

ギフトボックスに入っているSIM取り出しピンでスロットを開ける。

SIMカードを挿入する。

3　両面テープから保護フィルムをはがして、ルームミラーの後ろのフロントガラスにフロントカメラを取り付けします。

4　フロントカメラの本体を回転させ、レンズの角度を調整します。画面内で道路と背景の割合が 6:4 になるように、レンズを少し下 (水平面より下方 ≈10°) に向けて設置することをおすすめします。

5 両面テープから保護フィルムをはがして、リアガラスにリアカメラを取り付けします。リアカメラの本体を回転させ、レンズの角度を調整します。

6 リアカメラ接続ケーブルで、フロントカメラ「リアポート」とリアカメラ「V 出力」を接続します。

7 プライツールを使ってゴム製のウィンドウシールとモールドの端を持ち上げ、その中にリアカメラ接続ケーブルを入れ込みます。

8 電源コードをシガーソケットとフロントカメラに差し込みます。

9 プライツールを使ってフロントガラストリム/モールドの端を持ち上げ、その中に電源コードを入れ込みます。

10 車のエンジンをかけます。BlackVueドライブレコーダーの電源が入り、録画を開始します。録画ファイルは microSDカードに保存されます。microSDカードの容量が一杯になると、最新の録画ファイルを一番古い録画ファイルに上書きします (ループ録画)。つまり、常に最新の動画ファイルが確保できるように維持します。

11 車のエンジンを止めます。ドライブレコーダーは自動的に録画を中止し、電源がオフとなります。エンジンの停止中に駐車モードで録画するには **BlackVue Power Magic** アクセサリーカテゴリー（別売）の配線キットやバッテリーをご利用ください。

注

- 最初の50個までイベント録画ファイル (衝撃、マニュアル) が上書きされないようにロックすることができます。この機能は初期設定でオフになっています。イベントファイルフォルダが一杯になった際に、新しいイベントファイルで上書きするか、あるいは最初の50個のイベントファイルをロックし、ループ録画フォルダに新しいイベントファイルを保存するかをファームウェア設定で選択できます。microSDカードをフォーマットすると、ロックされたイベントファイルも含め、全ての録画ファイルが削除されますのでご注意ください。
- 録画中には録画LEDが点滅 (初期設定) し、GPS 信号を受信すると GPS LED が点灯します。録画モードには次の 4 つのモードがあります：常時録画モード、イベントモード、駐車モード、マニュアルモード。ドライブレコーダーは常時録画モードで録画を開始しますが、衝撃を検知するとイベントモードに切り替わり、車両の停止状態が 5 分以上続くと駐車モードに切り替わります。ファームウェアの設定によって、近接センサーをタッチすると録音をオン/オフにするか、マニュアル録画を開始するかを選択できます。
- ドライブレコーダーを初めて起動させると、microSDカードにファームウェアを自動的に書き込みます。ファームウェアがmicroSDカードに書きこまれたら、パソコンでBlackVue Viewerを使って設定の変更が可能となります。

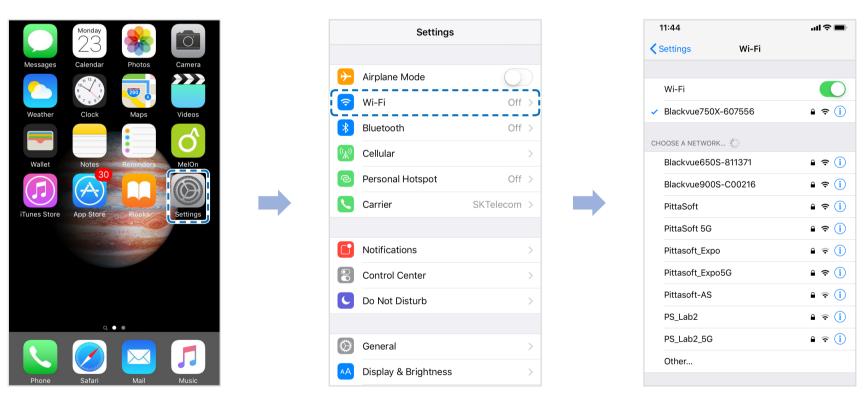
スマートフォン (Android/iOS) による録画ファイルの再生と管理

録画ファイルを開く

1 Google Play StoreまたはApple App StoreでBlackVueアプリを検索し、お使いのスマートフォンにインストールします。

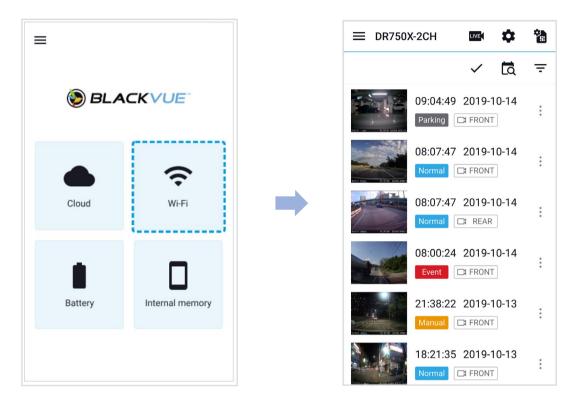
2 BlackVue ドライブレコーダーをWi-Fiダイレクトでお使いのスマートフォンと「ペアリング」させます:

a. ドライブレコーダーの電源が入るとWi-Fiダイレクトが自動的にオンになります。

b. スマートフォンの「**設定**」画面に移動し、「**Wi-Fi**」を選択して、Wi-Fiがオンになっているか確認します。

c. ネットワークリストからお使いのBlackVueドライブレコーダーを選択します。ドライブレコーダーの初期設定のSSIDは、モデル番号 (例：BlackVue 750LTE******) で始まります。

d. パスワードを入力し、接続をタップします。

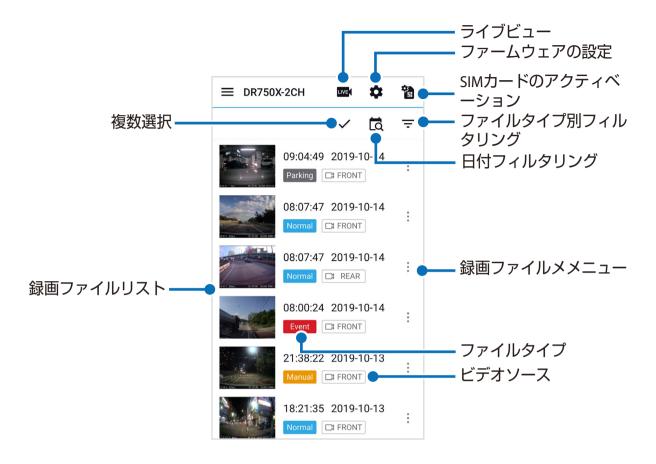
* 初期設定のWi-Fi SSIDとパスワードは、ドライブレコーダーのラベルまたはパッケージの中にある製品パッドにプリントされています。

e. BlackVueアプリを開いて、BLACKVUE **WI-FI**を選択します。

f. 録画ファイルリストから再生したいファイルを選択します。

注

- ダイレクトWi-Fiを使うと、10 m範囲内にあるBlackVueドライブレコーダーはスマートフォンと直接つながります。
- BlackVueアプリは Android 5.0 以降、または iOS 9.0 以降のバージョンのデバイスで利用できます。
- Wi-Fi SSIDとパスワードは、**99** ページと **102** ページの説明に従って変更できます。

BLACKVUE WI-FIの画面構成

注

- 画像はすべて、説明の目的でのみ掲載しています。実際のアプリの外見は、本書の画像と異なる場合もあります。

録画ファイルの再生

録画ファイルの再生

録画ファイルリストから再生したいファイルを選択します。

画面を上から下にスワイプすると録画ファイルリストを再読み込みします。

注

- 「最高（エクストリーム）」画質の動画再生の可否は、お使いの機器のハードウェアとソフトウェアによって違います。古いデバイスでは「最高（エクストリーム）」画質の動画再生をサポートしないことがあります。問題が発生した場合は、お持ちのデバイスのビデオ再生能力を確認してください。

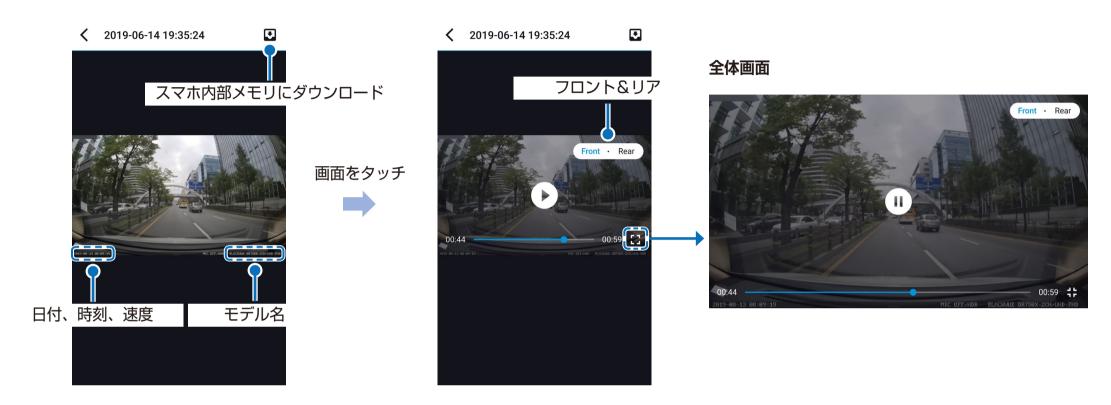
録画タイプ別で録画ファイルを確認

Normal	**一般**	初期設定では、ドライブレコーダーは常時録画モードで録画されます。
Event	**イベント**	常時録画モードまたは駐車モードでドライブレコーダーが衝撃を検知すると、イベントモードに切り替わり、イベントが発生した 5 秒前からの映像をイベント録画ファイルとして保存します。設定された制限速度を上回った場合にもイベント録画が起動します。
Parking	**駐車**	駐車モードでもドライブレコーダーは最新の約5秒間の映像を一時保存し続けます。ドライブレコーダーの視野内に動体が検知されたら、モーション検知の5秒前からの映像を保存します。
Manual	**マニュアル**	ファームウェア設定で近接センサーをマニュアル録画（上書きされないファイル）に設定し、近接センサーに触れるか、20 mm以内で手をかざすと、マニュアル録画を開始します。

注

- Normal、Event、Parking、Manual の各ボタンを使って、録画タイプ (常時、イベント、駐車、マニュアル) で、録画ファイルリストをフィルタリングできます。Event フィルターボタンには E (イベント) と I (駐車中の衝撃イベント) 録画が表示されます。
- 駐車モードで録画するには、ドライブレコーダーに常に電源が必要です。詳細については **96** ページの「オプション品」をご覧ください。

表示時刻とGPSデータの確認

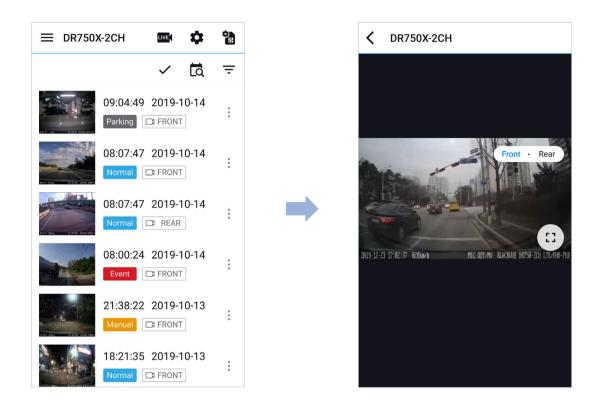
動画が録画された時刻は、再生画面の動画左下に表示されます。録画動画に表示される時刻が正しくない場合は **"時刻設定" on page 55** または **75** を参照してください。

車両の速度は動画の左下に表示されます。

画面をタッチして録画ファイルを再生してください。

スマートフォンを横に回して全体画面に変換できます。

フロント・リアボタンをタッチして画面を切り替えすることもできます。

リアルタイムビデオストリーミング (ライブビュー)

ダイレクトWi-Fiでドライブレコーダーにスマートフォンを接続すると、現在録画されている動画をリアルタイムで確認できます。

1 スマートフォンで「**設定**」 > 「**Wi-Fi**」の順に進み、ドライブレコーダーに接続します。

2 BlackVueアプリを開きます。「**BLACKVUE WI-FI**」を選択して、LIVE ボタンを選択します。

3 スマートフォンを横に回して全体画面に変換できます。

4 フロント・リアボタンをタッチして画面を切り替えすることもできます。

注

- ダイレクトWi-Fiでライブビューを見ると地図データは表示されません。お使いのスマートフォンがドライブレコーダーに接続している間は、インターネットとの接続が切れるためです。

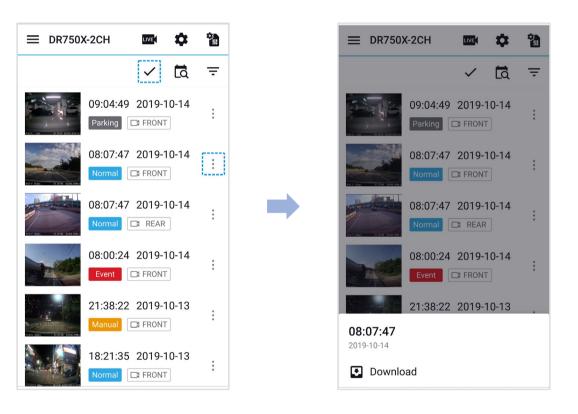
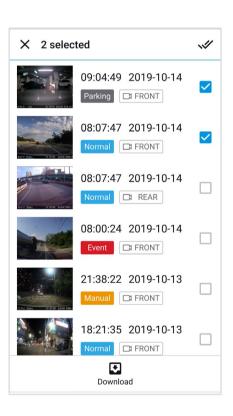
録画ファイルの管理

☐ BLACKVUE WI-FIで録画ファイルを管理する

BlackVueアプリで録画ファイルを管理することができます。

注

- microSDカードの容量が一杯になると、最新の録画ファイルを一番古い録画ファイルに上書きします (ループ録画)。つまり、常に最新の動画ファイルが確保できるように維持します。

内部メモリにコピーする

スマートフォンに個別のファイルをコピーするには、コピーしたい動画の横にある ⋮ をタップしてください。ダウンロードを選択してください。

スマートフォンに1度に複数のファイルをコピーするには、✓ を選択します。コピーしたいファイルを選択するか、✓✓ をタップして全てのファイルを選択します。ダウンロードを選択してください。

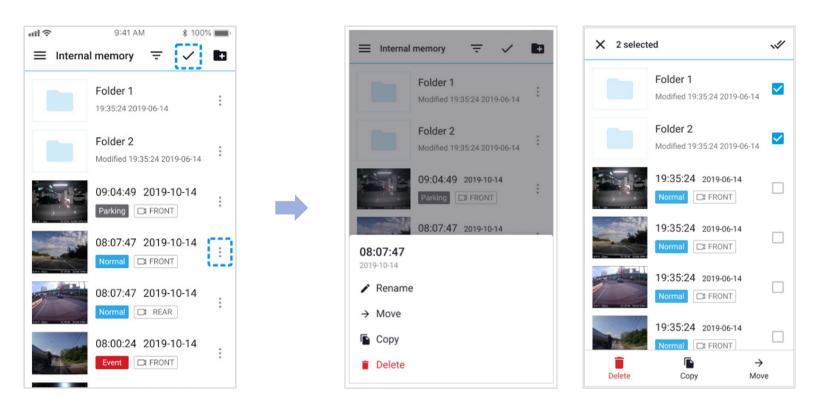
スマホ内部メモリでの録画ファイル管理

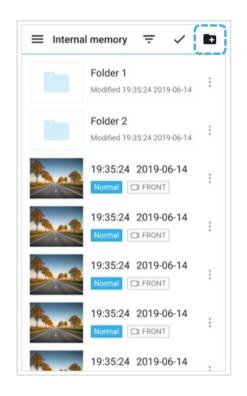
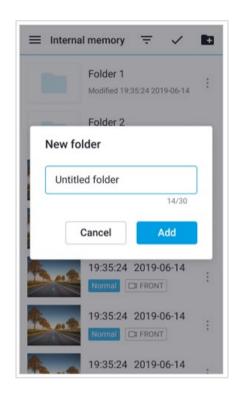
BlackVueアプリを開いて「**Internal Memory**」を選択します。

⋮ を選択すると、ファイルオプションが表示されます。ファイルの削除、コピーおよび移動できますし、ファイルの名前を変更することができます。

録画ファイルの削除

個別にファイルを削除するには、削除したいファイルの横にある ⋮ を選択してください。**削除**を選択します。

スマートフォンに保存されたファイルから複数のファイルを削除する場合はvアイコンをタップし、ファイルを選択した後に削除をタップしてください。削除したいファイルを選択するか、 をタップして全てのファイルを選択します。 をタップすると選択されたファイルが削除されます。

新規フォルダーを作成する

新しいフォルダーを作成するには 。アイコンをタップして新しいフォルダーの名前を入力してから追加をタップしてください。

フォルダーの削除

フォルダーを削除するには ⋮ をタップして削除を選択してください。

録画ファイルのコピーとペースト

個別にファイルをコピーするには、コピーしたいファイルの横にある ⋮ をタップしてください。**コピー**を選択します。別のフォルダーを開き、 をタップすると、そこにファイルをペーストすることができます。

複数のファイルをまとめてコピーしたい場合は ✓ アイコンをタップしてコピーを選択してください。コピーしたいファイルを選択するか、 をタップして全てのファイルを選択します。
 をタップすると選択されたファイルをコピーします。別のフォルダーを開き、 をタップすると、そこに選択されたファイルをペーストことができます。

日本語

録画ファイルの移動

個別にファイルを移動させるには、移動させたいファイルの横にある ⋮ を選択してください。**移動**を選択します。移動させたいフォルダに進み、タップしてファイルを移してください。

多数のファイルをまとめて移動したい場合は v をチェックしてファイルを選択するか、 v v をタップしてすべてのファイルを選択して移動できます。 Move をタップすると、そこに選択されたファイルが移動します。

録画ファイルの名前の変更

録画ファイルの名前を変更するには、変更したいファイルの横にある ⋮ を選択してください。**「名前を変更する」**を選択します。新しい名前を入力してOKを選択してください。

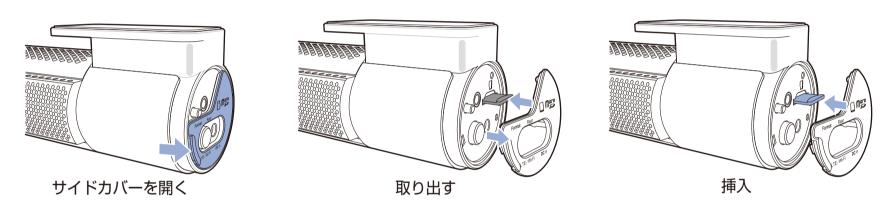
パソコン (Windows/macOS) での動画の再生と管理

microSDカードの取り出し

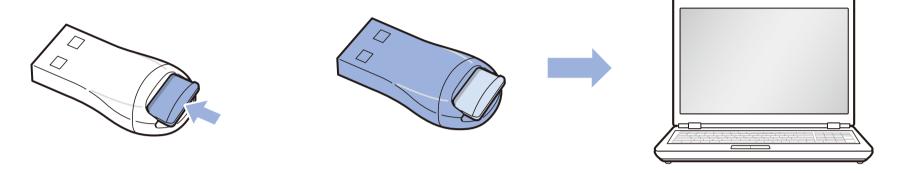
1 電源コードを抜いて、ドライブレコーダーの電源を切ります。

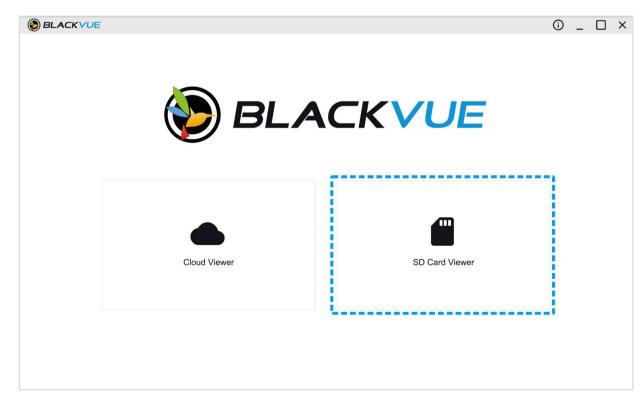
2 microSDカードスロットのカバーを開きます。

3 microSDカードを取り外すには、カードを優しく押してロックを解除し、丁寧にカードを引き抜いてください。

microSDカードを挿入するには、スロットに固定するまでmicroSDカードをスロットにゆっくりと挿入してからカバーを閉じます。

BlackVue Viewerで動画ファイルを開く

1 ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出します。

2 そのカードをmicroSDカードリーダーに挿入して、リーダーをパソコンに接続します。

3 「www.blackvue.com」 > 「**Support**」 > 「**Downloads**」の順にクリックし、BlackVue Viewerをダウンロードしてお使いのパソコンにインストールします。

4 BlackVue viewerを起動してSD Card Viewerをクリックしてください。

5 動画を選択して再生ボタンをクリックするか、選択した動画をダブルクリックすると、再生します。

Viewer画面の構成 (Windows/macOS)

Viewerを起動するとSD card viewerとCloud viewerが表示されます。最初画面に戻りたいと アイコンをクリックしてください。

注

- 画像はすべて、説明の目的でのみ掲載しています。実際のアプリの外見は、本書の画像と異なる場合もあります。

録画ファイルの再生

録画ファイルの再生

BlackVue Viewerで録画ファイルをダブルクリックすると再生できます。

初期設定では、microSDカード内のファイルが BlackVue Viewerに表示されます。別のフォルダにあるファイルを確認するには、 ボタンをクリックしてフォルダを検索します。

録画タイプ別で動画ファイルを確認

Normal Event Parking Manual ボタンを使って、録画タイプ別に録画ファイルリストをフィルタリングします。Event フィルターボタンには E (イベント) と I (駐車中の衝撃イベント) 録画が表示されます。

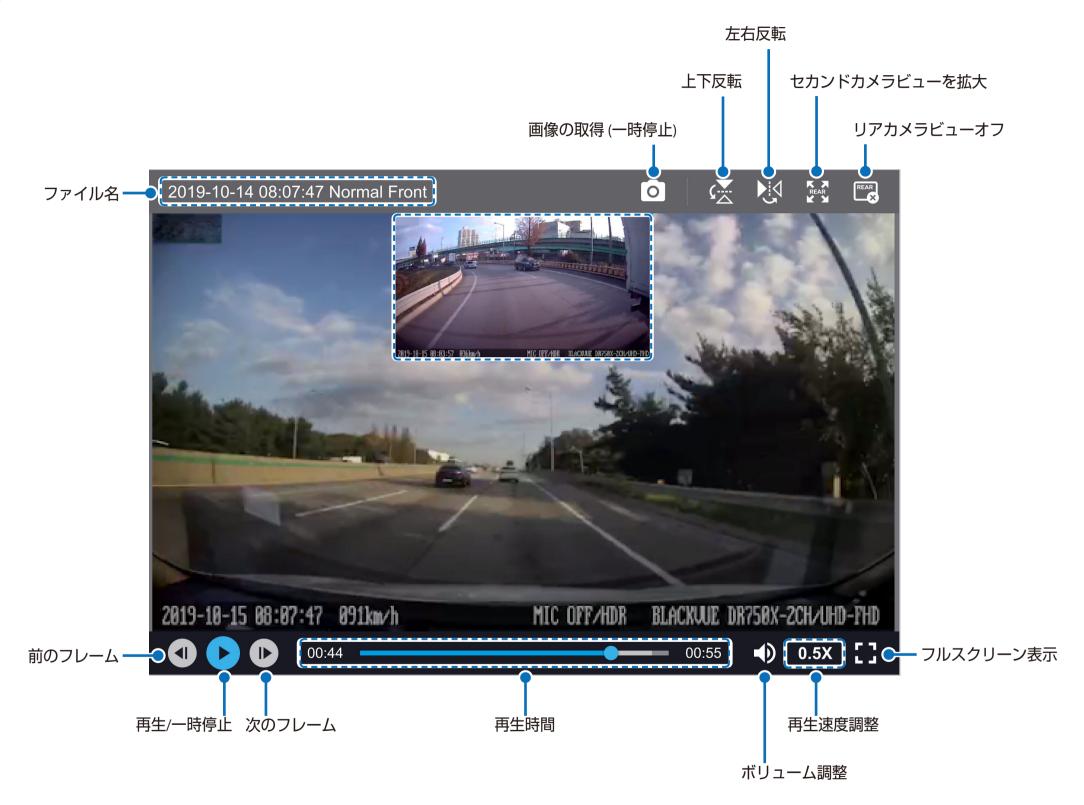
Normal	一般	初期設定では、ドライブレコーダーは常時録画モードで録画されます。
Event	イベント	常時録画モードまたは駐車モードでドライブレコーダーが衝撃を検知すると、イベントモードに切り替わり、イベントが発生した 5 秒前からの映像をイベント録画ファイルとして保存します。設定された制限速度を上回った場合にもイベント録画が起動します。
Parking	駐車	駐車モードではドライブレコーダーが最新の約5秒間の映像を一時保存し続けます。ドライブレコーダーの視野内で動体が検知されると、モーション検知の 5 秒前からの映像が、駐車録画として保存されます。
Manual	マニュアル	近接センサーがファームウェア設定でマニュアル録画に設定されていると近接センサーに触られたりセンサーの20mm以内で手をかざすと、マニュアル録画を開始します。

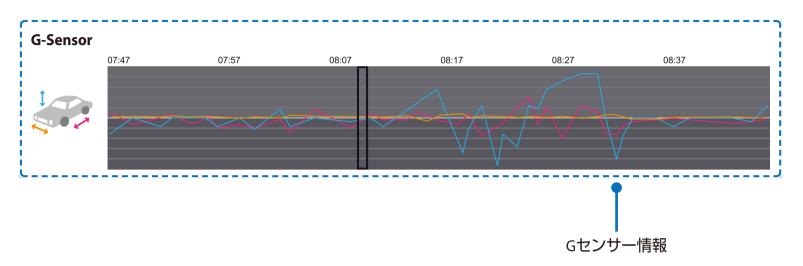
注

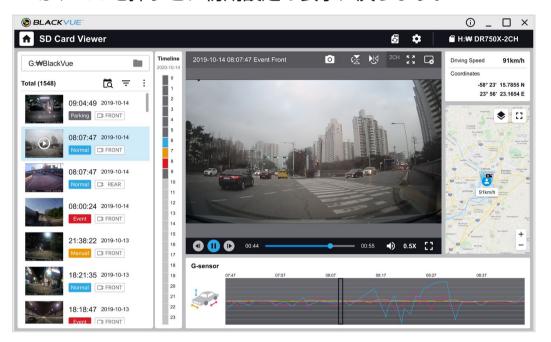
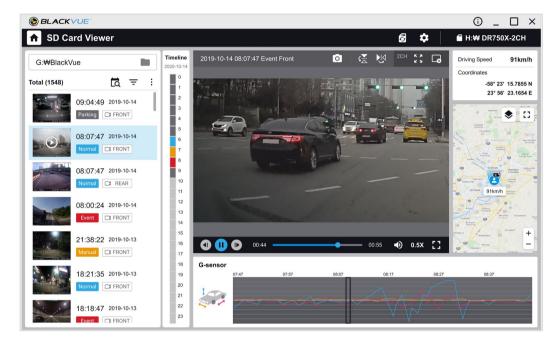
- 駐車モードで録画するには、ドライブレコーダーに常に電源が必要です。詳細については **96** ページの「オプション品」をご覧ください。

表示時刻の確認

動画が録画された時刻は、再生画面の動画左下に表示されます。録画動画に表示される時刻が正しくない場合は **55** ページと **75** ページの「時刻設定」を参照してください。

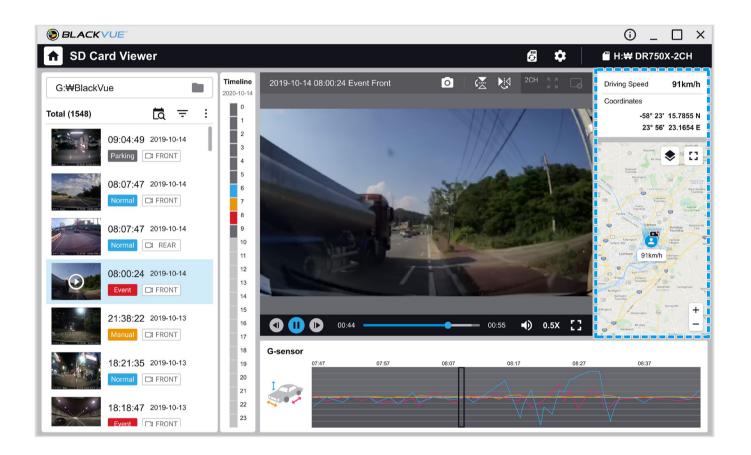
BlackVue Viewerの使用

タイムラインとGセンサーグラフの検索

グラフで、衝撃感度 (Gセンサー) 情報が確認できます。

ズームオプション

- マウスのスクロールホイールでズームができます。右クリックすると動画が初期設定のサイズに戻ります。
- ウインドウの端部をドラッグすると、再生フレームや BlackVue Viewer のサイズが変更できます。
- **フルスクリーン表示**: 録画ファイルをダブルクリックすると、フルスクリーン表示になります。もう一度ダブルクリックするか、ESC を押すと、初期設定の表示に戻ります。

GPSデータの確認

BlackVue Viewerで録画ファイルを再生すると録画ファイルのGPSデータが確認できます。マップフレーム上に運転速度と座標が表示されます。

注

- 駐車モードではGPSデータは記録されません。駐車モードの録画ではマップデータは表示されません。

録画ファイルの管理

BlackVue Viewerで録画ファイルを管理することができます。microSDカードのフォーマットができます。

注

- 初期設定では、microSDカードが一杯になると、最も古い動画ファイルから上書きされます。

録画ファイルからのキャプチャーとプリント

1 ファイルリストから再生したいファイルをダブルクリックします。

2 「一時停止」ボタンをクリックして動画を一時停止します。

3 録画ファイルをキャプチャするには アイコンをクリックするとイメージキャプチャができます。

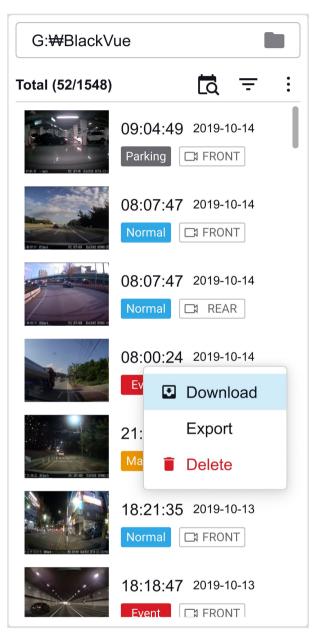
動画の削除

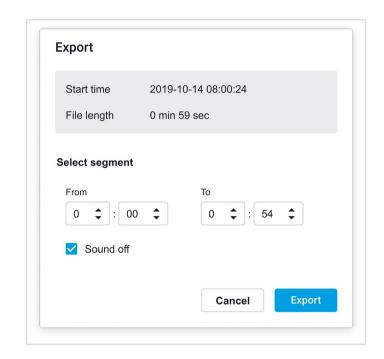
1 削除したい録画ファイルを選択し、マウスの右ボタンをクリックしてください。

2 「**削除**」をクリックします。

- 複数のファイルをまとめて削除したい場合は ⋮。録画ファイルリストから録画ファイルを選択し、削除ボタンをクリックして削除します。

録画ファイルのエクスポート

1 エクスポートしたい録画ファイルを選択してマウスの右ボタンをクリックしてください。

2 「**エクスポート**」をクリックします。

3 ファイルの一部をエクスポートしたい場合は、セグメント選択から開始時間と終了時間を入力して編集してください。音声なしでエクスポートするには、「**サウンドオフ**」を選択します。

4 エクスポートボタンをクリックしてください。

5 ファイルを保存するフォルダを選択し、ファイル名を入力します。

6 「**保存**」ボタンをクリックします。

録画ファイルのダウンロード

1 ダウンロードしたい録画ファイルを選択してマウスの右ボタンをクリックしてください。

2 ダウンロードをクリックしてください。

3 コピーしたいフォルダーを選択してください。

4 「**フォルダの選択**」ボタンをクリックします。

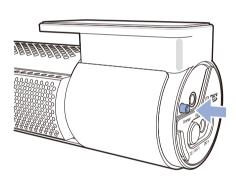
- 複数のファイルをまとめてダウンロードするには ⋮ アイコンを選択してダウンロードをクリックしてください。録画ファイルを選択してフォルダーを選択した後ダウンロードをクリックしてください。
- 録画ファイルをダウンロードする時はファイルの長さやミュート機能は設定できません。

microSDカードのフォーマット

注意

- microSDカードをフォーマットする前に、必要な動画ファイルをバックアップしておきます。microSDカードをフォーマットすると、保護されたイベントファイルを含め、全ての録画ファイルが削除されるのでご注意ください。保存された設定は影響されません。

BlackVueでカードをフォーマットする

フォーマットボタンを 5 秒間長押しした後、音声案内が流れたら、ボタンから手を離します。続いてもう一度 5 秒間長押しするとmicroSDカードをフォーマットします。

BlackVue Viewer (Windows) を使用してフォーマットする

1. microSDカードをmicroSDカードリーダーに挿入し、リーダーをパソコンに接続します。

2. 「**www.blackvue.com**」 > 「**Support**」 > 「**Downloads**」 の順にクリックして、**BlackVue Viewer (Windows)** をダウンロードした後お使いのパソコンにインストールします。

3. パソコンにインストールした **BlackVue Viewer** を起動します。

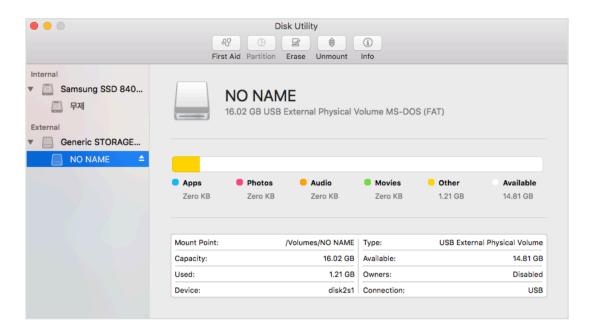
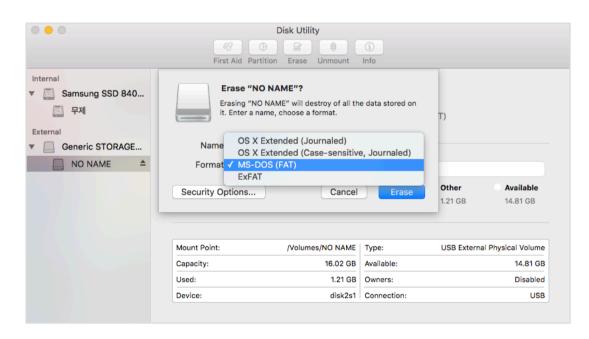
4 「 フォーマット」ボタンをクリックし、カードドライブを選択して「OK」をクリックします。

BlackVue Viewer (macOS) を使用してフォーマットする

1 microSDカードをmicroSDカードリーダーに挿入し、リーダーをパソコンに接続します。

2 「**www.blackvue.com**」 > **「Support」** > **「Downloads」** の順にクリックして、**BlackVue Viewer (macOS)** をダウンロードした後お使いのパソコンにインストールします。

3 パソコンにインストールした **BlackVue Viewer** を起動します。

4 「フォーマット」ボタンをクリックして、左フレームのドライブリストから microSDカードを選択します。

5 microSDカードを選択したら、メインウィンドウで「消去」項目を選択します。

6 「ボリュームフォーマット」から「MS-DOS (FAT)」を選択して、「消去」を選択します。

注

- microSDカードを月1回フォーマットすることをおすすめします。
- 録画映像の画質が落ちたように思えたら、microSDカードをフォーマットしてください。
- BlackVueで製造された正規品のmicroSDカードのみをお使いください。その他のカードは、互換性の問題がある可能性があります。Pittasoft Co., Ltd. では、他社製の microSDカードを使用して発生した問題について、一切責任を負いません。
- Windowsユーザー向け:「PC」から microSDカードを直接フォーマットするには、microSDカードドライブを右クリックして「フォーマット」を選択します。ファイルシステムを「FAT32」にし、アロケーションユニットサイズを「64キロバイト」に選択して「開始」をクリックします。FAT32が利用できない、または選択できない場合にはBlackVue ViewerでmicroSDカードをフォーマットしてください。

ファームウェアのアップデート

パフォーマンスの向上と機能更新のためにファームウェアを定期的にアップグレードしてください。ファームウェアの更新は、**「www.blackvue.com」** > **「Support」** > **「Downloads」**の順にクリックして、ダウンロードできます。

ファームウェアをアップデートしても、保存した設定に影響はありません。

iOSまたはAndroidデバイスでのファームウェアのアップグレード (FOTAファームウェア･オーバー･ジ･エア)

Via Wi-Fi Direct

Step-by-stepチュートリアル動画を見るにはここをクリックするか、メインメニューから「**ヘルプ**」 > 「**チュートリアル動画**」の順に選択してください。

お使いのスマートフォンのインターネット接続状態が安定しているか確認します。

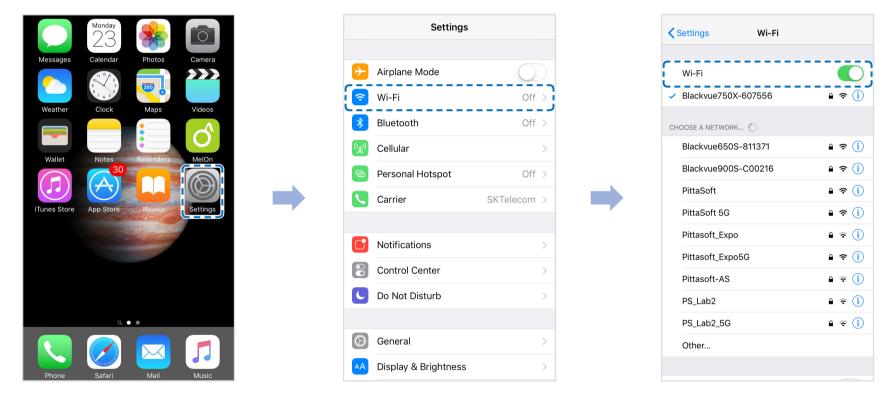
1. BlackVueアプリを開きます
2. ☰ をタップして、「**ファームウェアのダウンロード**」を選択します。
3. お客様のモデルとファームウェアを選択してダウンロードしてください。

注

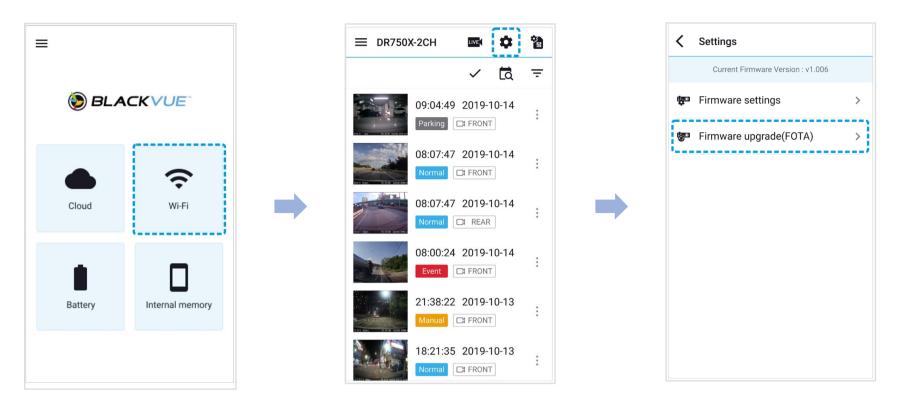
- ドライブレコーダーに現在インストールされているファームウェア言語を選択してください。アップグレードを完了したら、**71** ページまたは **74** ページに説明されているように、ドライブレコーダーの設定でファームウェア言語を変更できます。

4 ファームウェアバージョンとリリースノートを確認してダウンロードをタップしてください。

5 BlackVue ドライブレコーダーが近くにあるかを確かめてください。

6 スマートフォンの「**設定**」画面に移動し、「**Wi-Fi**」を選択して、Wi-Fiがオンになっているか確認します。

7 ネットワークリストからお使いのBlackVueドライブレコーダーを選択します。ドライブレコーダーの初期設定のSSIDは、モデル番号 (例：BlackVue 750LTE******) で始まります。

8 パスワードを入力し、接続をタップします。
* ドライブレコーダーにWi-Fi SSIDとパスワードが入力されています。それらを確認するにはデバイスに接続されたケーブルを抜け、マウントブラケットを分離した後確認してください。

9 BlackVueアプリを開きます。**「WI-FI」> ⚙ >「ファームウェアのアップグレード」**の順に選択します。

注

- 最初は現在microSDカードにインストールされているファームウェアバージョンが表示されます。その下に、ステップ 4でダウンロードしたファームウェアが表示されます。

10 ファームウェアのアップグレードを適用するためにダウンロードをタップしてください。

11 ドライブレコーダーのファームウェアがアップグレードされます。アップグレード完了までには数分かかる場合もあります。ファームウェアのアップグレードを完了するため、ドライブレコーダーを再起動します。

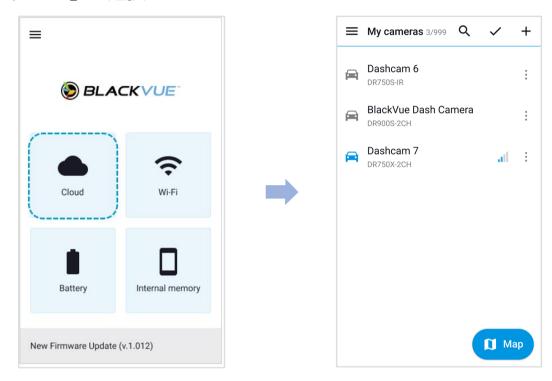
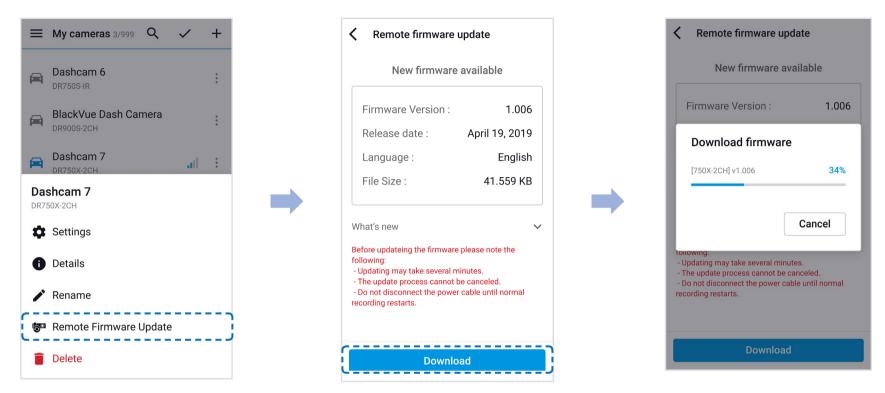
注意

アップグレードが完了した後、常時録画が始まるまでドライブレコーダーの電源を切らないでください。途中で電源が切れてしまうとアップグレードが中断され、ドライブレコーダーが故障する恐れがあります。

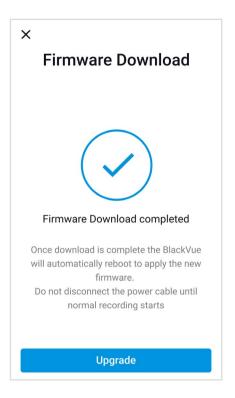
Cloud経由（リモートファームウェアアップグレード）

注

- ファームウェアが更新可能になると、ドライブレコーダー名の隣にアイコンが表示されます。
- ファームウェアはドライブレコーダーがCloudに接続されている間にのみアップグレードできます。

1 BlackVueアプリを開きます。「**Cloud**」を選択します。⋮アイコンをタップしてください。

2 リモートファームウェアアップデートを選択し、ダウンロードしてください。
ドライブレコーダーはファームウェアをダウンロードして自動的に適用します。

⚠ **注意**

アップグレードが完了した後、常時録画が始まるまでドライブレコーダーの電源を切らないでください。途中で電源が切れてしまうとアップグレードが中断され、ドライブレコーダーが故障する恐れがあります。

3 アップグレードが完了したら知らせます。

パソコン(Windows/macOS) を使用したファームウェアのアップデート

ファームウェアを最新バージョンに更新してBlackVueドライブレコーダーを最新の状態に維持してください。BlackVueホームページ (**www.blackvue.com**) にアクセスし、お使いのBlackVueドライブレコーダー用最新ファームウェアのリリース情報を確認してください。

日本語

1 microSDカードリーダーにmicroSDを挿入します。

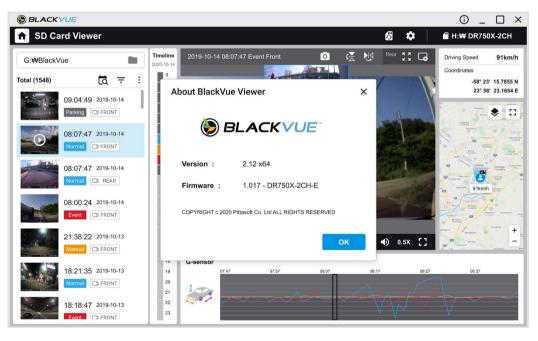
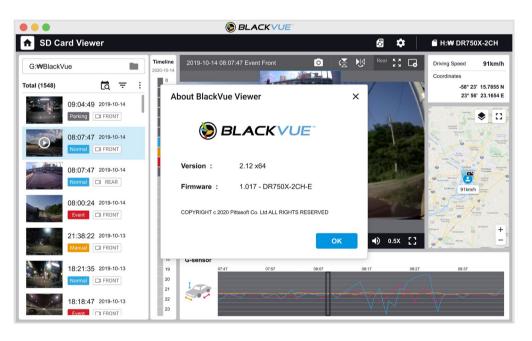
2 パソコンにmicroSDカードリーダーを接続します。

3 BlackVue Viewerを起動 > SD card Viewerをクリックして ⓘ アイコンを選択します。

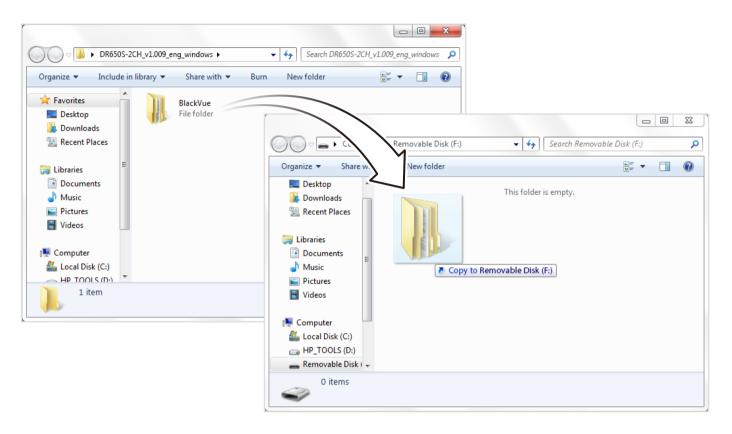
- Macを使用している場合、 BlackVue Viewer をクリックし、メニューから「BLACKVUEについて」を選択します。

4 お使いのBlackVueドライブレコーダーの現在のファームウェアバージョンを確認し、最新ファームウェアでない場合にのみ、次の段階に進んでください。

Windows

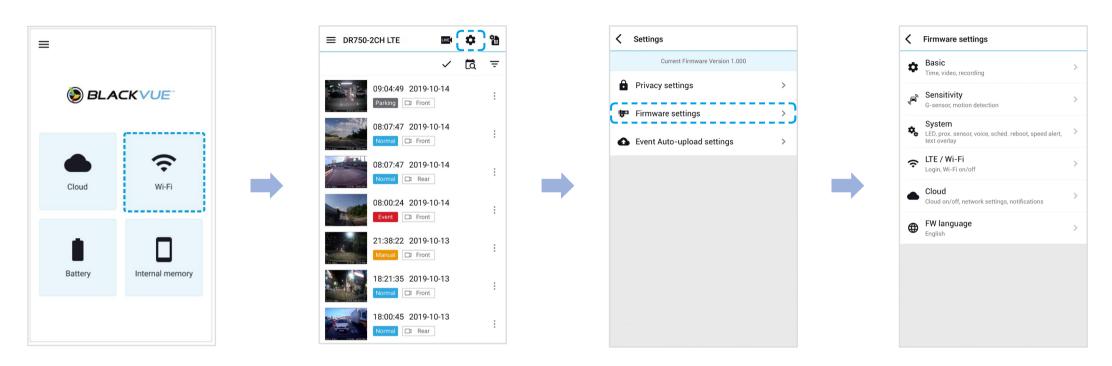
Mac

5 microSDカードをフォーマットします。**"microSDカードのフォーマット" on page 41** を参照してください。

6 BlackVueホームページ (**www.blackvue.com** > Support > Download) にアクセスし、お使いのBlackVueドライブレコーダーにZIP形式の最新ファームウェアをダウンロードします。

7 ダウンロードしたファイルを解凍し、BlackVueフォルダをmicroSDカードにコピーします。

8 ドライブレコーダーにmicroSD カードを挿入し、電源を入れるとファームウェアのアップグレードが始まります。アップグレードが完了するまで電源を切らないでください。途中で電源が切れてしまうとアップグレードが中断され、故障する恐れがあります。

注

- ドライブレコーダーの電源が入った状態で、microSDカードを出し入れしないでください。そうするとデータは壊れ、microSDカードが故障する恐れがあります。
- ファームウェアをアップデートしても、保存した設定に影響はありません。
- ファームウェアは以前に保存した言語でアップグレードされます。言語を変更したい場合は、**71** ページまたは **74** ページを参照してください。

スマートフォン (Android/iOS) を使用した設定の変更

Wi-Fiダイレクトでお使いのスマートフォンとBlackVueドライブレコーダーを「ペアリング」します。(詳細については **"録画ファイルを開く" on page 19** を参照)

1. スマートフォンで「**設定**」>「**Wi-Fi**」の順に進み、ドライブレコーダーに接続します。
2. BlackVueアプリを開きます。**WI-FI** > ⚙ を選択して、ファームウェア設定メニューにアクセスします。
3. 設定変更が終わったら以前の段階に戻って **<** アイコンをタップして設定を保存してください。

⚠ 注意

- **時刻**と**画質**設定を変更する前に、必要な録画ファイルをバックアップしてください。上記設定のどちらかを変更して保存すると、最適なパフォーマンスを確保するために、ドライブレコーダーはmicroSDカードを一度フォーマットし、ロックされたイベントファイルを含めてカードに保存されたすべての録画を削除します。

基本設定

Firmware settings
Basic
Time, video, recording
Sensitivity
G-sensor, motion detection
System
LED, prox. sensor, voice, sched. reboot, speed alert, text overlay
LTE / Wi-Fi
Login, Wi-Fi on/off
Cloud
Cloud on/off, network settings, notifications
FW language
English

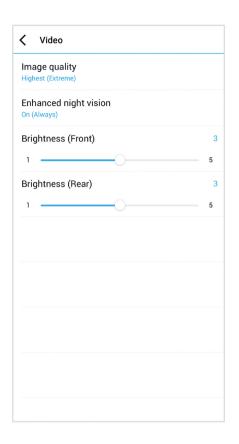
Basic settings
Time
Date & time, time zone
Video
Resolution, Image quality, Night vision, Brightness
Recording
Adjust options

時刻設定

お住まいの地域に合わせて自動で時刻を同期させる場合、「GPS時刻と同期」を選択してください。または、**マニュアル時刻設定**を選択して、日時を直接設定することもできます。

注

- 初期時刻設定は「UTC -11時間」です。
  UTCタイムゾーン設定の例：
  - UTC-7: ロサンゼルス
  - UTC-4：ニューヨーク
  - UTC+0：ロンドン
  - UTC+1: パリ
  - UTC+3：モスクワ
  - UTC+8：シンガポール
  - UTC+9：東京
  - UTC+10：シドニー
  お住まいの地域のUTCタイムゾーンが不明な場合に**https://greenwichmeantime.com/**で、最寄の都市を検索してください。
  *「**サマータイム適用**」を選択すると、表示される時刻が標準時刻より1時間早く設定されます。
- microSDカードから時刻をマニュアルで設定するときには、BlackVueドライブレコーダーを使用すると予想される時刻に設定してください (現在の時刻ではない)。

映像設定

解像度

解像度とフレームレートは「フルHD@60+フルHD@30」で変更はできません。フロントカメラはフルHD映像を1秒当たり60フレームに、リアカメラはフルHD映像を1秒当たり30フレームに録画します。

注

- 1秒当たり60フレームの録画ファイルはお客様のスマホのハードウェアかソフトウェアによって異なります。古い機種は60フレームを支援しない可能性もあります。再生に問題が発生するとスマホのビデオ再生機能を確認してください。

* フレームレートはWi-Fi ストリーミング中に変化することもあります。

画質

解像度は「FHD@60 + FHD@30」で固定されています。録画の画質 (ビットレート) を調整することができます。選択肢：

- 最高（エクストリーム）（フロント： 25 Mbit/s、リア：10 Mbit/s)
- 最高 (フロント：12 Mbit/s、リア：10 Mbit/s)
- 高 (フロント：10 Mbit/s、リア：8 Mbit/s）
- 一般(フロント：8 Mbit/s、リア：6 Mbit/s）

画質を上げると、動画ファイルのサイズが大きくなります。それに比例して、読み込みやコピーの時間も長くなります。お使いのスマートフォンが「最高」画質での動画ストリーミングをサポートしない場合、録画ファイルをスマートフォンにコピーし、内部メモリで再生してください。またはアプリ設定で「クイックプレイバック」オプションを選択できます。

ナイトビジョン

本ドライブレコーダーは基本的に低照度でも鮮明に写す能力を備えています。より明るく録画したい場合は「ナイトビジョン」をオンにします。これは常時オンにすることも、駐車モード中のみオンにすることもできます。

明度 (フロント)

フロントカメラの録画明度を調整することができます。

明度 (リア)

リアカメラの録画明度を調整することができます。

録画設定

常時録画

オフにすると、常時録画モードでイベントが発生しない限り録画しません。

駐車モード録画

これを有効にした場合、車両が 5 分間停止すると常時録画モードから駐車モードに切り替わります。駐車モードには2つのオプションがあります。「モーション・衝撃検知」を選択した場合、ドライブレコーダーの視野内に動体が検知されたら、駐車録画ファイルとして保存します。Gセンサーが衝撃や衝突を検知すると、ドライブレコーダーは個別にイベント録画ファイルを保存します。

「タイムラプス」を選択した場合、1秒で1フレームを連続的に録画し保存します。再生時には、30倍速で再生されます。Gセン

サーが衝撃や衝突を検知すると、ドライブレコーダーは普通のフレームレートに戻り、別途イベント録画ファイルを保存します。

駐車モード中のリアカメラ録画

オンにすると、フロントカメラとリアカメラが同時に録画します。

オフにした場合、駐車モードになった5分後にリアカメラの録画は停止します。常時録画モードになったら、リアカメラも録画を再開します。

録音

オフにするとドライブレコーダーは録音を行いません。

日時表示

動画の日時表示をオン/オフします。

速度表記

km/h、MPH、表示オフから選択できます。

イベントファイルをロックする

このオプションをオンにすると、以下の録画タイプがロックされ、最新の録画によって上書きされなくなります。

- 常時および駐車モード中の衝撃イベント録画 (E)、及び
- マニュアル録画 (M)。

ファイルは最大50個までロックできます。この上限に達した後、新しい録画ファイルをロックするには、microSD内のロックされたファイルの中から不要なものを削除して空き容量を確保するか、「空き容量がない場合は、保護したファイルを上書きする」にチェックを入れ、最も古いファイルから上書きされるようにしてください。

フロントカメラの上下反転

フロントカメラを上下逆さまに取り付けた場合、こちらの設定でフロントカメラの画像を180°回転させることができます。

リアカメラの反転

こちらの設定を使用して、リアカメラの画像を180°回転させたり、鏡像にさせたりすることができます。

感度設定

Gセンサー (常時録画モード)/Gセンサー (駐車モード)

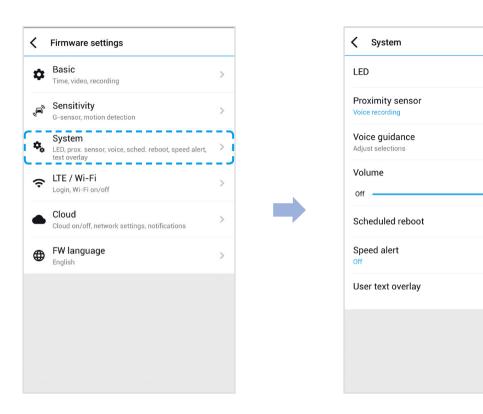
Gセンサーは、上下、左右、前後の 3 軸で車体の動きを測定します。Gセンサーが大きな動きや急な動き (衝撃や衝突) を検知すると、イベント録画が始まります。小さな事故や衝突ではイベント録画が開始しないように感度を調節することができます。衝撃検知によるイベント録画をオフにするには、Gセンサーの感度をオフ（0）に設定します。

モーション検知 (駐車モード)

モーション検知の駐車モードでは、ドライブレコーダーが撮影映像を常にモニタリングしていて、視野内に動体が検知されたら、駐車録画ファイルとして保存します。

風によるわずかな動きや雨などで録画が起動しないように、モーション検知の感度を調節することができます。感度調整の際には、車の周辺環境を考慮してください。風で揺れる木や遠くにある移動物体によって不要なモーション検知録画が発生しないように、検知領域を選択することができます。初期設定では全領域が選択されています。特定の領域のモーション検知を無視したい場合は、当該領域のチェックを外してください。

システム設定

LED

録画ステータス

録画ステータス LED をオン・オフできます。

フロントセキュリティ (常時録画モード)

常時録画モードでフロントセキュリティ LED をオン・オフできます。

フロントセキュリティ (駐車モード)

駐車モードでフロントセキュリティ LED をオン・オフできます。

リアセキュリティ

リアセキュリティ LED がオン・オフできます。

LTE/Wi-Fi

LTE/Wi-Fi LEDをオン・オフできます。

近接センサー

近接センサーの機能を選択できます。利用可能なオプション：

- 録音のオン・オフ（初期設定）
- マニュアル録画の起動

センサーを完全にオフにすることもできます。

音声ガイダンス

聞きたい音声ガイダンス (アナウンス) を選択することができます。

音量

音声ガイダンス (アナウンス) 音量を調整することができます。

オートリフレッシュ

動作の安定性を向上させるために、1日1回駐車モードの間の設定時刻にドライブレコーダーを自動的に再起動させることができます。設定時刻にドライブレコーダーが録画をしていたら、その日のオートリフレッシュはスキップされます。

オートリフレッシュ機能のオン/オフや予定時刻の変更ができます。初期設定の再起動時刻は 午前 3 時です。

速度超過警告

速度超過警告の制限速度 (300 km/h (200 MPH) まで) を設定します。車両の速度が指定の制限速度を超えたら、ドライブレコーダーはビープ音を流し、イベント録画に切り替えます。速度超過でイベント録画ファイルが1つ保存されたら、ドライブレコーダーは常時録画モードに戻ります。

ユーザー情報挿入

英文字 (A〜Z、a〜z)、数字 (0〜9)、記号 (:; ‘/+-_()$#) のご希望の組み合わせで20 文字までのテキストを録画中の映像に挿入することができます。このテキストは録画映像の左上に挿入されます。

LTE/Wi-Fi

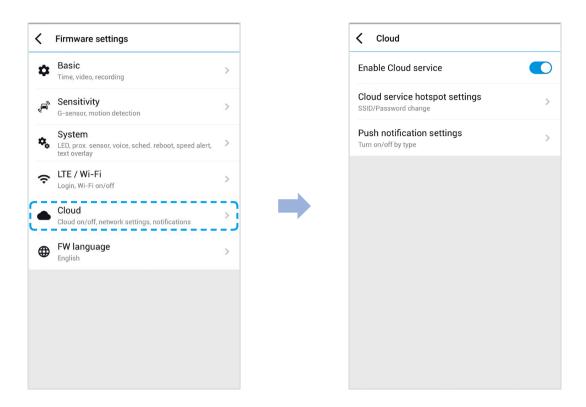
Wi-Fi 自動解除

「Wi-Fi自動解除」をオンにすると、10分間操作がない場合にWi-Fiが自動的にオフになります。「Wi-Fi自動解除」をオフにすると、Wi-Fiは常にオン状態になります。

ドライブレコーダー側面のWi-Fiボタンを押して、いつでもWi-Fi機能を直接オン/オフすることもできます。

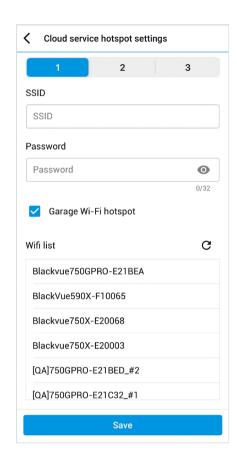
Wi-Fiログイン認証情報

ドライブレコーダーのSSIDとWi-Fiのログインパスワードを変更できます。

Cloud 設定

CloudサービスのON/OFF

Cloudサービスを使わない場合は、OFFにすることもできます。

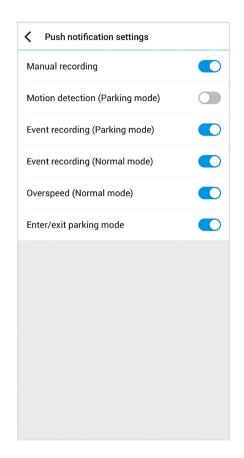
日本語

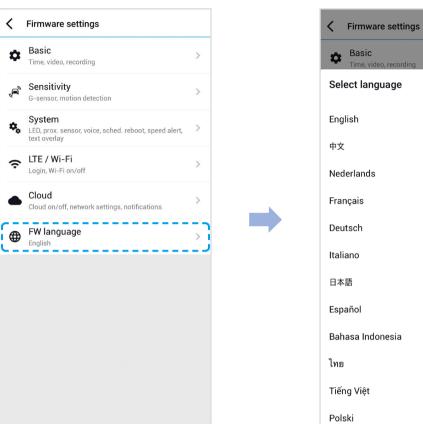
クラウドサービスのホットスポット設定

Wi-Fiホットスポットは3つまで保存できます（例：自宅Wi-Fi、モバイルWi-Fiルーター、会社など）。Wi-Fiリストから選択してパスワードを入力してください。「2」、「3」をタップしてホットスポットの追加もできます。

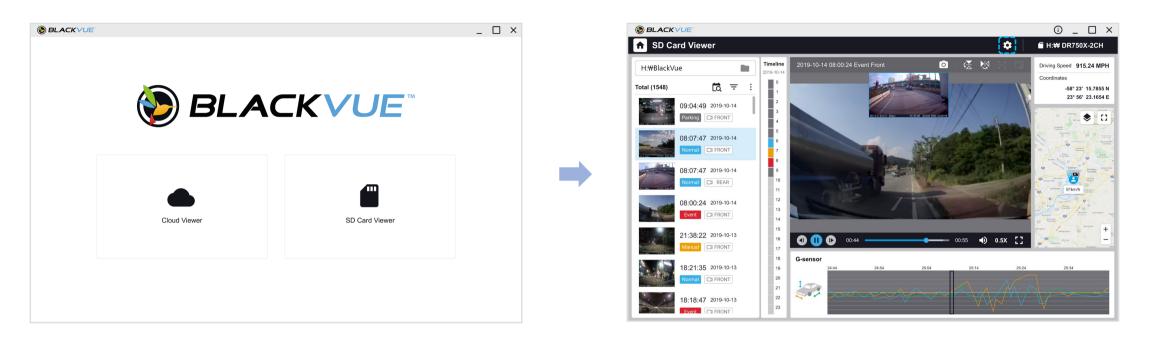
BlackVueドライブレコーダーは最初ホットスポット1に接続を試します。失敗したら、ホットスポット2、３順に接続を試します。

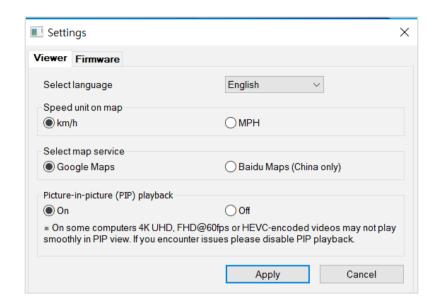
注

- DR750-2CH LTEは5GHz Wi-Fiネットワークはサポートしません

プッシュ通知設定

受信したいプッシュ通知を選択することができます。

ファームウェア言語

ドライブレコーダーのファームウェア言語を変更できます。

パソコン（Windows/macOS）で設定を変更する

BlackVue設定を変更するには アイコンをクリックしてください。BlackVueの設定のほとんどが変更でき、その操作をカスタマイズすることができます。

BlackVue Viewerの設定

言語の選択

ドロップダウンリストから、BlackVue Viewerインターフェイスで使用する言語を選択します。

マップ上の速度単位

マップに表示される速度単位を変更します。

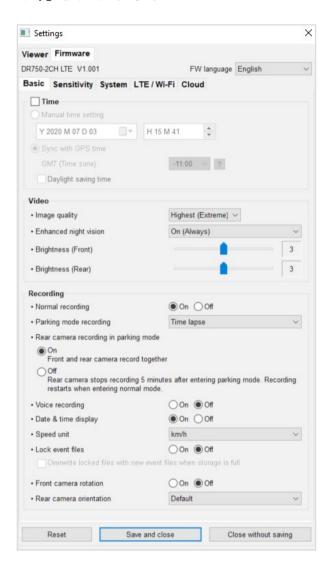
マップサービスの選択

使用するマッピングサービスを変更します。

ピクチャーインピクチャー (PIP) 再生

パソコンによってPIPビューで動画をスムースに再生できない場合があります。このような問題が発生した場合は、PIP再生をオフにしてください。

ファームウェアの設定

ファームウェア言語のドロップダウンリストからドライブレコーダーのファームウェアで使用する言語を選択します。選択された言語でドライブレコーダーの音声アナウンスが行なわれます。

注意

- **時刻**と**画質**設定を変更する前に、必要な録画ファイルをバックアップしてください。上記設定のどちらかを変更して保存すると、最適なパフォーマンスを確保するために、ドライブレコーダーはmicroSDカードを一度フォーマットし、ロックされたイベントファイルを含めてカードに保存されたすべての録画を削除します。

基本設定

時刻設定

お住まいの地域に合わせて自動で時刻を同期させる場合、「GPS時刻と同期」を選択してください。または、**マニュアル時刻設定**を選択して、日時を直接設定することもできます。

注

- 初期時刻設定は「UTC -11時間」です。
  UTCタイムゾーン設定の例：
  - UTC-7: ロサンゼルス
  - UTC-4：ニューヨーク
  - UTC+0：ロンドン
  - UTC+1: パリ
  - UTC+3：モスクワ
  - UTC+8：シンガポール
  - UTC+9：東京
  - UTC+10：シドニー
  お住まいの地域のUTCタイムゾーンが不明な場合に**https://greenwichmeantime.com/**で、最寄の都市を検索してください。
  * 「**サマータイム適用**」を選択すると、表示される時刻が標準時刻より1時間早く設定されます。
- microSDカードから時刻をマニュアルで設定するときには、BlackVueドライブレコーダーを使用すると予想される時刻に設定してください (現在の時刻ではない)。

映像設定

– 画質

解像度とフレームレートは「フルHD@60+フルHD@30」で変更はできません。録画の画質 (ビットレート) を調整することができます。

- 最高（エクストリーム）（フロント： 25 Mbit/s、リア：10 Mbit/s)
- 最高 (フロント：12 Mbit/s、リア：10 Mbit/s)
- 高 (フロント：10 Mbit/s、リア：8 Mbit/s）
- 一般(フロント：8 Mbit/s、リア：6 Mbit/s）

画質を上げると、動画ファイルのサイズが大きくなります。それに比例して、読み込みやコピーの時間も長くなります。

– ナイトビジョン

本ドライブレコーダーは基本的に低照度でも鮮明に写す能力を備えています。より明るく録画したい場合は「ナイトビジョン」をオンにします。これは常時オンにすることも、駐車モード中のみオンにすることもできます。

– 明度 (フロント)

フロントカメラの録画明度を調整することができます。

– 明度 (リア)

リアカメラの録画明度を調整することができます。

録画設定

– 常時録画

オフにすると、常時録画モードでイベントが発生しない限り録画しません。

– 駐車モード録画

これを有効にした場合、車両が 5 分間停止すると常時録画モードから駐車モードに切り替わります。駐車モードには2つのオプションがあります。「モーション・衝撃検知」を選択した場合、ドライブレコーダーの視野内に動体が検知されたら、駐車録画ファイルとして保存します。Gセンサーが衝撃や衝突を検知すると、ドライブレコーダーは個別にイベント録画ファイルを保存します。

「タイムラプス」を選択した場合、1秒で1フレームを連続的に録画し保存します。再生時には、30倍速で再生されます。Gセンサーが衝撃や衝突を検知すると、ドライブレコーダーは普通のフレームレートに戻り、別途イベント録画ファイルを保存します。

– 駐車モード中のリアカメラ録画

オンにすると、フロントカメラとリアカメラが同時に録画します。

オフにした場合、駐車モードになった5分後にリアカメラの録画は停止します。常時録画モードになったら、リアカメラも録画を再開します。

– 録音

オフにするとドライブレコーダーは録音を行いません。

– 日時表示

録画ファイルの日時表示をオン/オフします。

– 速度表記

km/h、MPH、表示オフから選択できます。

– イベントファイルをロックする

このオプションをオンにすると、以下の録画タイプがロックされ、最新の録画によって上書きされなくなります。

- 常時および駐車モード中の衝撃イベント録画 (E)、及び
- マニュアル録画 (M)。

ファイルは最大50個までロックできます。この上限に達した後、新しい録画ファイルをロックするには、microSD内のロックされたファイルの中から不要なものを削除して空き容量を確保するか、「空き容量がない場合は、保護したファイルを上書きする」にチェックを入れ、最も古いファイルから上書きされるようにしてください。

– フロントカメラの上下反転

フロントカメラを上下逆さまに取り付けた場合、こちらの設定でフロントカメラの画像を180°回転させることができます。

– リアカメラの反転

こちらの設定を使用して、リアカメラの画像を180°回転させたり、鏡像にさせたりすることができます。

感度設定

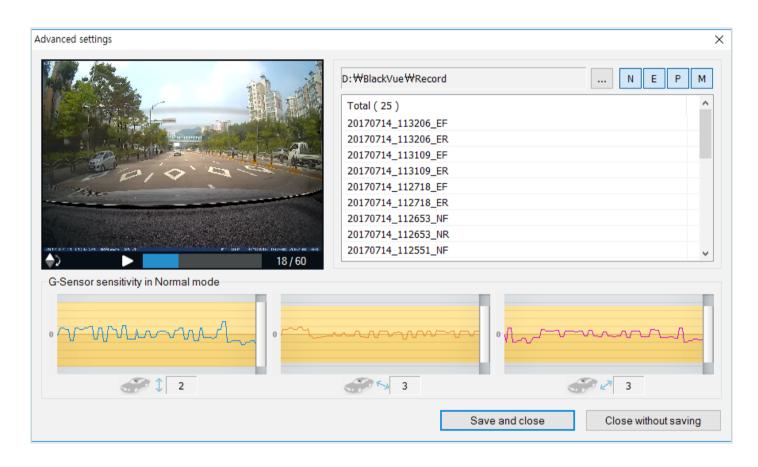
Gセンサー (常時録画モード)/Gセンサー (駐車モード)

Gセンサーは、上下、左右、前後の 3 軸で車体の動きを測定します。Gセンサーが大きな動きや急な動き (衝撃や衝突) を検知すると、イベント録画が始まります。小さな事故や衝突ではイベント録画が開始しないように感度を調節することができます。衝撃検知によるイベント録画をオフにするには、Gセンサーの感度をオフ（0）に設定します。

モーション検知 (駐車モード)

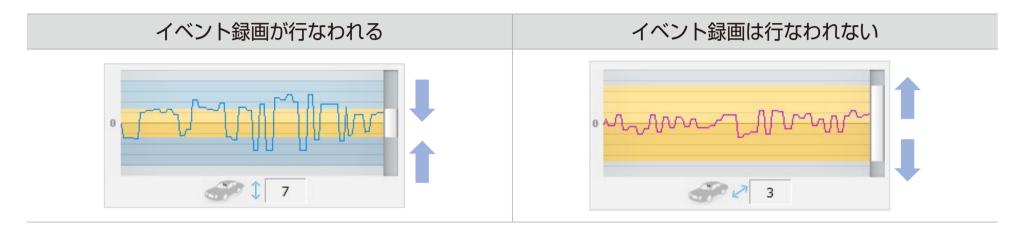
モーション検知の駐車モードでは、ドライブレコーダーが撮影映像を常にモニタリングしていて、視野内に動体が検知されたら、駐車録画ファイルとして保存します。

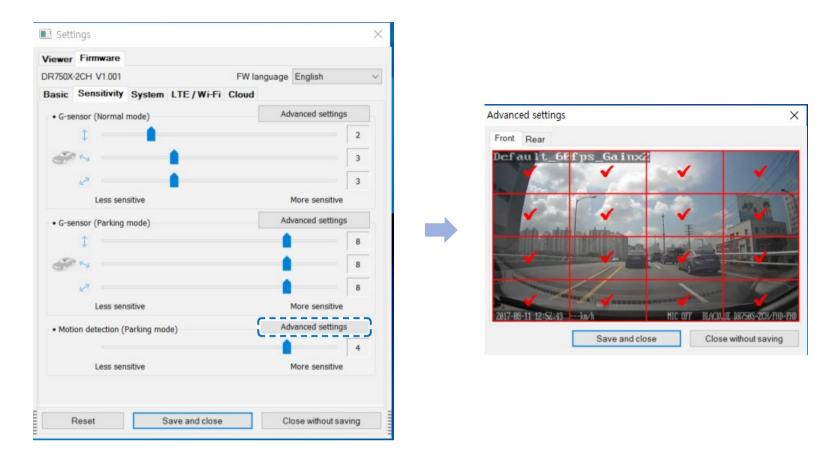
風によるわずかな動きや雨などで録画が起動しないように、モーション検知の感度を調節することができます。感度調整の際には、車の周辺環境を考慮してください。

常時録画モードと駐車モードの詳細感度設定

感度の詳細設定では、予め録画された映像とGセンサーデータを参照しながら、イベント録画のGセンサーの閾値を微調整することができます。

1 「**詳細設定**」ボタンをクリックします。

2 リストからGセンサーデーを参考にしたい動画をダブルクリックします。

3 Gセンサーグラフの横にあるコントロールバーを調整して、閾値を設定します。設定した3軸の閾値を測定されたGセンサーデータのいずれかが超えたら、イベント録画を開始させます。

4 「**保存して閉じる**」を選択します。

モーション検知の詳細設定（領域選択）

風で揺れる木や遠くにある移動物体によって不要なモーション検知録画が発生しないように、検知領域を選択することができます。初期設定では全領域が選択されています。特定の領域のモーション検知を無視したい場合は、当該領域のチェックを外してください。

システム設定

LED

– 録画ステータス

録画ステータス LED をオン・オフできます。

– フロントセキュリティ (常時録画モード)

常時録画モードでフロントセキュリティ LED をオン・オフできます。

– フロントセキュリティ (駐車モード)

駐車モードでフロントセキュリティ LED をオン・オフできます。

– リアセキュリティ

リアセキュリティ LED がオン・オフできます。

– LTE/Wi-Fi (駐車モード)

駐車モードで LTE/Wi-Fi LED をオン・オフできます。

注

LEDの初期設定を変更することによって、道路交通法等に抵触する恐れがあります。その場合、Pittasoftでは一切責任を負いません。

近接センサー

近接センサーの機能を選択できます。利用可能なオプション：

- 録音のオン・オフ（初期設定）
- マニュアル録画の起動

センサーを完全にオフにすることもできます。

音声ガイダンス

聞きたい音声ガイダンス (アナウンス) を選択することができます。

注:

駐車モード中に衝撃を検知していたら、駐車モードを終了する際に音声で知らせます。ただし、駐車モードが終了する前の3分間に検知された衝撃は無視されます。

日本語

音量

音声ガイダンス (アナウンス) 音量を調整することができます。

オートリフレッシュ

動作の安定性を向上させるために、1日1回駐車モードの間の設定時刻にドライブレコーダーを自動的に再起動させることができます。設定時刻にドライブレコーダーが録画をしていたら、その日のオートリフレッシュはスキップされます。

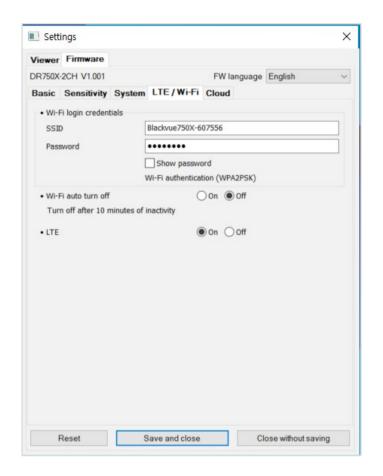
オートリフレッシュ機能のオン/オフや予定時刻の変更ができます。初期設定の再起動時刻は 午前 3 時です。

速度超過警告

速度超過警告の制限速度 (300 km/h (200 MPH) まで) を設定します。車両の速度が指定の制限速度を超えたら、ドライブレコーダーはビープ音を流し、イベント録画に切り替えます。速度超過でイベント録画ファイルが1つ保存されたら、ドライブレコーダーは常時録画モードに戻ります。

ユーザー情報挿入

英文字 (A〜Z、a〜z)、数字 (0〜9)、記号 (:; ‘/+-_()$#) のご希望の組み合わせで20 文字までのテキストを録画中の映像に挿入することができます。このテキストは録画映像の左上に挿入されます。

LTE/Wi-Fi設定

Wi-Fiログイン認証情報

ドライブレコーダーのSSIDとWi-Fiのログインパスワードを変更できます。

Wi-Fi 自動解除

「Wi-Fi自動解除」をオンにすると、10分間操作がない場合にWi-Fiが自動的にオフになります。「Wi-Fi自動解除」をオフにすると、Wi-Fiは常にオン状態になります。

ドライブレコーダー側面のWi-Fiボタンを押して、いつでもWi-Fi機能を直接オン/オフすることもできます。

LTE設定

初期設定はオンです。LTEサービスを使用しない場合はオフにしてください。

Cloud 設定

プッシュ通知設定

受信したいプッシュ通知を選択することができます。

Cloudホットスポット設定

Wi-Fiホットスポットは3つまで保存できます（例：自宅Wi-Fi、モバイルWi-Fiルーター、会社など）。Wi-Fiリストから選択してパスワードを入力してください。「2」、「3」をタップしてホットスポットの追加もできます。

BlackVueドライブレコーダーは最初ホットスポット1に接続を試します。失敗したら、ホットスポット2、3順に接続を試します。

注

DR750-2CH LTEは5GHz Wi-Fiネットワークはサポートしません。

CloudサービスのON/OFF

CloudサービスをOFFにすることができます。

設定の適用

BlackVueドライブレコーダーに設定済みのmicroSDカードを挿入して電源をオンにすると、自動的に設定が適用されます。ドライブレコーダーを使用する前に設定変更を行なってください。

調整中のタブの設定をすべて初期化するには、設定パネルの下にある「**リセット**」ボタンを押してください。

クラウドサービスについて

SIMカードのアクティベーションを行い、BlackVue LTEドライブレコーダーをオンライン状態にしてください！

ドライブレコーダーがインターネットに接続すると、BlackVueアプリとBlackVue Cloud Viewerで以下の機能を利用できます。

ライブビュー - いつでもどこからでも、（防犯カメラのように）車の周囲で起きていることが確認できます。

リモート録画ファイル再生 - スマートフォンやパソコンでドライブレコーダーや Cloud に保存されている録画ファイルを再生できます。

プッシュ通知アラート – 指定したイベントが発生したら、スマートフォンやパソコンに通知します。

リアルタイムロケーション – 私用車または社用車のルートや速度、駐車場所を追跡します。

録画ファイルのバックアップ – Cloudストレージやスマートフォン、パソコンに重要な映像をコピーします。

自動アップロード – イベント録画ファイルがCloudに自動的にアップロードされます。

双方向音声通信 – スマートフォンやパソコンから運転者や乗務員、管理者と通話できます。

GPSトラッキング – 走行経路履歴やGPSログの確認とマップ上に直接表示されるイベント動画の再生・確認、トラッキングデータのエクスポートなどができます。

ジオフェンシング – 車が通過するとプッシュ通知がもらえる仮想の境界線をマップ上に作成します。

運転レポート – 総走行距離や運転時間などを確認し、表でエクスポート/印刷します

リモートファームウェアアップデート – Cloud経由でドライブレコーダーのファームウェアを簡単にアップグレードできます。

BLACKVUE CLOUDへの接続

BlackVueアプリの詳しい使い方については、**www.blackvue.com** から「**Support**」>「**Downloads**」の順にクリックし、BlackVueアプリのマニュアルをダウンロードしてください。

1 アカウントの作成

(i) BlackVueアプリを開きます。

(ii) ログインページの左上の ≡ アイコンをタップしてください。

(iii) お客様のお名前とメールアドレス、パスワードを入力してください。パスワードを再び入力してから登録を選択してください。

(iv) 入力したメールアドレスに本人確認メールが送られます。メール内のリンクをクリックして、アカウントの作成を完了します。

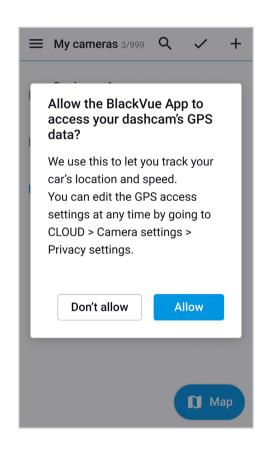
2　ドライブレコーダーの登録

(i) BlackVueアプリで「**Cloud**」を選択して、ご自分のアカウントにログインします。
(ii) +をタップして カメラ登録を選択してください。
(iii) 「**はい**」を選択して、プッシュ通知を有効にします。(この設定は後から変更することもできます)
(iv) 以下のいずれかの方法で、ドライブレコーダーを登録します:

QR コードのスキャン: お客様のスマホでQRコードをスキャンしてください。

カメラのマニュアル登録: カメラのシリアルナンバーとクラウドコードを入力してカメラ登録をタップしてください。

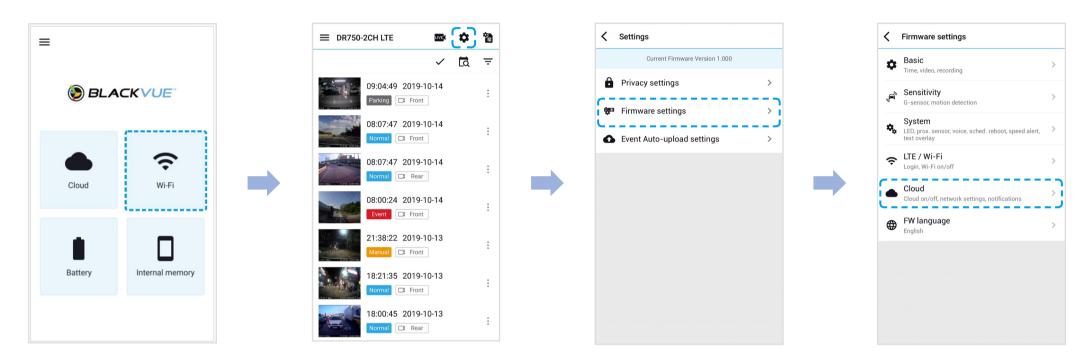
※フロントカメラ本体をマウントブラケットから外すと、QRコードラベルが現れます。または、パッケージ内の製品パッドにも同じQRコードが貼られています。

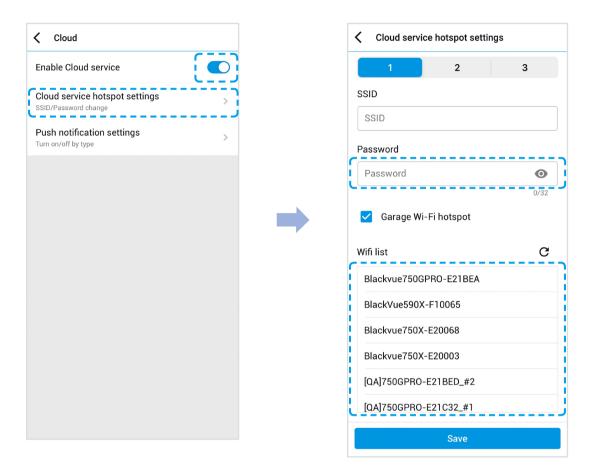
(v) 本アプリから、ドライブレコーダーのGPSデータへのアクセス許可を求められます。アクセスを「**許可する**」と、本アプリから車の場所と速度を表示させることができます。アクセスを「**許可しない**」と、車の場所と速度がアプリから確認できません。(アクセスは後で「プライバシー設定」で許可に変えることができます)。

3　クラウド接続のためにドライブレコーダーとWi-Fiテザリングを行ってください。

Step-by-stepチュートリアル動画を見るにはここをクリックするか、メインメニューから「**ヘルプ**」>「**チュートリアル動画**」の順に選択してください。

(i)　ドライブレコーダーとWi-Fiホットスポットが全てオンになっているか確認してください。

(ii)　ダイレクトWi-Fiでお使いのスマートフォンと BlackVueドライブレコーダーを「ペアリング」します。(詳細については "**録画ファイルを開く" on page 19** を参照)

(iii) BlackVueアプリを開きます。**Wi-Fiを選択>アイコン>ファームウェア設定>Cloud**

(iv) クラウドサービスがオンに設定されているか確認してください。その後ホットスポット接続先を選択してください。

(v) リストからお客様のWi-Fiホットスポットを選択してパスワードを入力してください。2、３を選択してWi-Fiホットスポットを追加してください。追加が終わったら保存をタップしてください。

注

- Wi-FiホットスポットのSSIDは最大3つまで保存できます。（自宅、モバイルWi-Fiルーター、職場など）
- DR750-2CH LTEは5GHz Wi-Fiネットワークはサポートしません。

SIMカードのアクティベーション

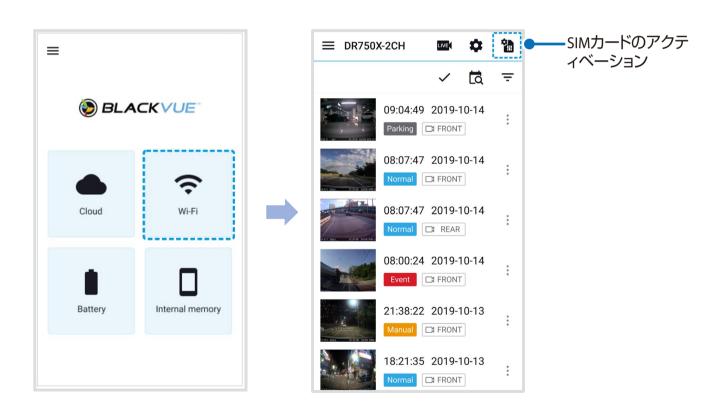
BlackVue Cloudサービスを利用するには、LTEネットワーク経由でSIMカードがインターネットにアクセスできるようにアクティベーションする必要があります。

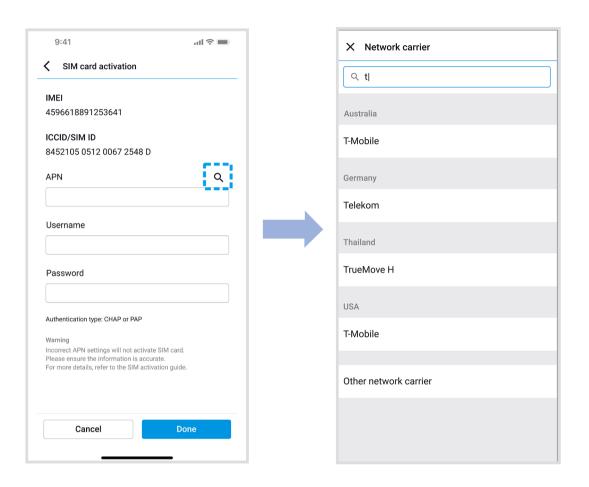
より詳しくはギフトボックスに含まれたSIMアクティベーションを参照してください。

SIMアクティベーションのプロセス

(i) BlackVueアプリを開いて、BLACKVUE **Wi-Fi** > を選択します。

注

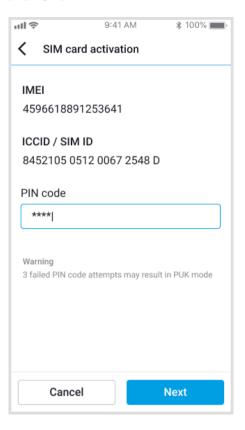
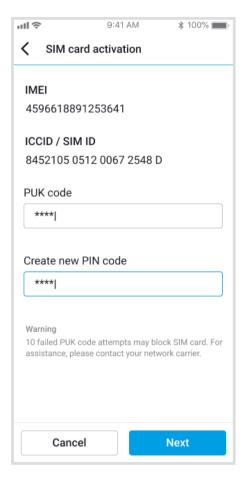
駐車モードでSIMカードをアクティベーションする場合、SIMカード情報の取得に20秒以上かかる場合があります。

(ii) APN を自動設定するには、アイコンを選択すると通信事業者の選択ページが表示されます。通信事業者を選択すると、SIM カードのアクティベーションページに APN 設定情報が自動入力されます。

(iii) 通信事業者の選択ページにお使いの通信事業者がない場合は、「その他の通信キャリア」を選択してください。APN情報はマニュアルで入力できます。

設定を保存すると、数秒以内にドライブレコーダーが Cloud に接続されます。

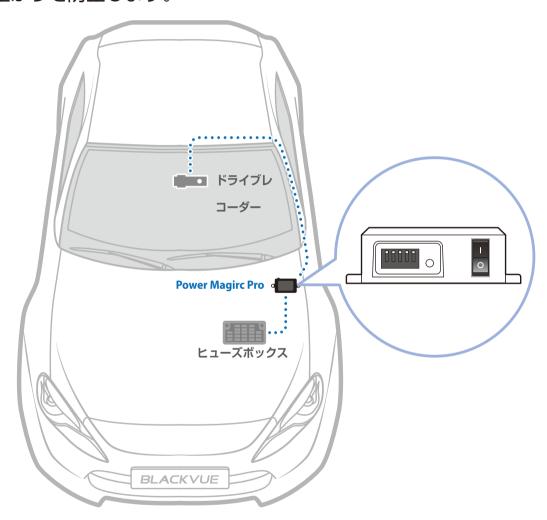
ドライブレコーダーが Cloud に接続できない場合は、APN 設定を確認するか、カスタマーサポートにお問い合わせください。

これで、[BlackVue アプリ] > [Cloud] に移動して、リモートライブビューやビデオ再生、リアルタイムロケーション、自動アップロード、リモートファームウェアアップデートなどの クラウドサービス機能を使用できるようになります。

SIM カードパッケージには、PIN コードと PUK コードが記載されています。記載されている PIN コードまたは PUK コードを入力し、「OK」を押して続行します。

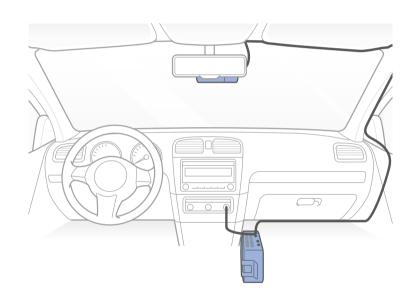
警告:

- 3 回連続して間違ったパスワードを入力すると、PUK モードになる場合があります。
- 10 回連続して誤った PUK コードを入力すると、SIM カードがブロックされることがあります。サポートが必要な場合は、通信事業者にお問い合わせください。

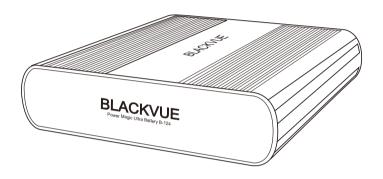
駐車モードキット (オプション)

エンジンが停止すると、BlackVueドライブレコーダーの電源も切れます。エンジンが停止している間も録画させたい場合には、駐車モードキット（Power Magic ProまたはPower Magic EZ）が必要です。Power Magic Pro は、車のエンジンが停止している間に車のバッテリーから直接ドライブレコーダーに給電する配線キットです。低電圧になったら電源をカットオフする機能と駐車モードのタイマーで車のバッテリー上がりを防止します。

駐車モードバッテリー (オプション)

駐車モードバッテリー（Power Magic Ultra BatteryやPower Magic Battery Packなど）を取り付けると、エンジンが停止している間に車のバッテリーを使用せずに録画することができます。

Power Magic Battery (B-112)

Power Magic Battery pack B-112は、１時間急速充電で、１台のドライブレコーダーに12時間まで給電することができます。エンジンを停止すると、バッテリーパックからドライブレコーダーに給電が行われます。エンジンをかけると、車のバッテリーからドライブレコーダーに直接給電が行われ、バッテリーパックも充電されます。

Power Magic Ultra Battery (B-124X)

直接配線で取り付けられている場合、Power Magic Ultra Batteryは40分でフル充電になります。1カメラのBlackVueドライブレコーダーの場合、駐車モードは24時間以上続けられます。無料のBlackVue Battery Managerアプリが使えます。

注

- オプションの拡張バッテリーを取り付けると、容量を倍に増やすことができます。
- Power Magic Ultra Batteryはイグニッションキー（アクセサリー電源）をオンにすると充電され、イグニッションキー（アクセサリー電源）がオフになっているとドライブレコーダーに電源を供給します。
- 詳細は、Blackvueホームページ（www.blackvue.com）をご覧ください。。

ダイレクトWi-FiのSSIDとパスワードの変更および初期化

ドライブレコーダーのWi-Fi SSIDとパスワードは以下の方法で変更/初期化することができます。

※フロントカメラ本体をマウントブラケットから外すと、QRコードラベルが現れます。または、パッケージ内の製品パッドにも同じQRコードが貼られています。

Cloud経由でWi-Fi SSIDとパスワードの変更

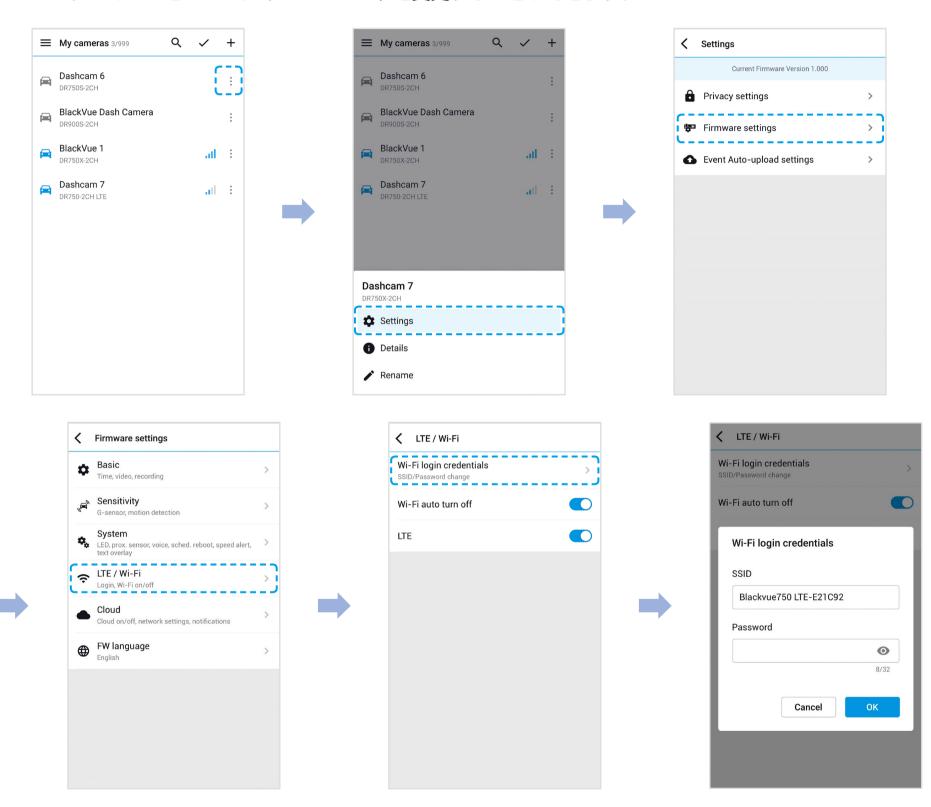
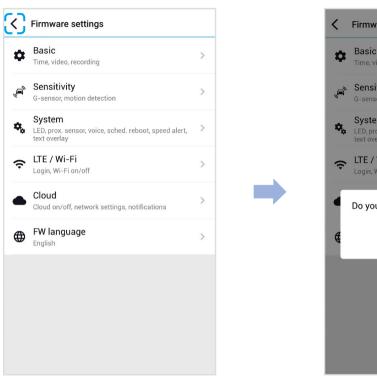
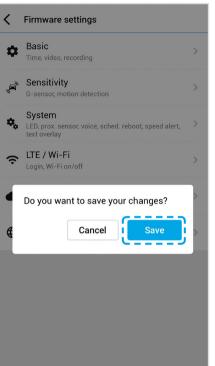
1 BlackVueアプリにログインします。

2 「**Cloud**」を選択します。

注

- Cloud経由でファームウェア設定にアクセスするためには、ドライブレコーダーの電源がオンでインターネット (Cloud) に接続している必要があります。クラウド接続を完了したら車アイコンがブルーになり、接続が切れたり、接続ができなかった場合には車アイコンがグレイになります。

3 カメラの名前の右にある ⋮ アイコンをタップして**設定** > **ファームウェアの設定** > **LTE / Wi-Fi** > **Wi-Fiログイン設定を選択してください。**

ドライブレコーダーのSSIDとWi-Fiログインパスワードを変更することができます。

4 ファームウェア設定に戻り、<アイコンをタップして保存を選択してください。

BlackVue ViewerでWi-Fiパスワードを変更する場合 (Windows または Mac)

1 ドライブレコーダーからmicroSDカードを取り出します。

2 そのカードをmicroSDカードリーダーに挿入して、リーダーをパソコンに接続します。

3 BlackVue Viewerを起動します。

※「**www.blackvue.com**」 > **「Support」** > **「Downloads」**の順に進み、**BlackVue Viewer** をダウンロードし、お使いのパソコンにインストールします。

4 BlackVue設定を変更したいと ⚙ ボタンをクリックしてください。

5 ファームウェアカテゴリーをクリックして LTE/Wi-Fiを選択してください。ログイン設定でSSIDとパスワードを変更してください。

6 「**保存して閉じる**」を選択します。

製品仕様

モデル名	DR750-2CH LTE
LTE	4G LTEモジュール搭載、ナノSIM対応
色/寸法/重量	フロント：黒/幅 137.6 mm × 高さ 43 mm/166 g リア：黒/幅 67.4 mm × 高さ 25 mm/25 g
メモリ	microSDカード (32 GB/64 GB/128 GB/256 GB)
録画モード	常時録画、イベント録画 (常時録画モードと駐車モードで衝撃が検知された場合)、マニュアル録画、駐車録画。 * 駐車モード録画には、駐車モードバッテリーパック (Power Magic Battery Pack) または駐車モード配線キット (Power Magic Pro) が必要です。
カメラ	フロント：STARVIS™ CMOS センサー (約 2.1 メガピクセル) リア：STARVIS™ CMOS センサー (約 2.1 メガピクセル)
視野角	フロント：対角：139°、水平：116°、垂直：61° リア：対角：139°、水平：116°、垂直：61°
解像度/フレームレート	<フロント - リア> フルHD (1920x1080) @60fps - フルHD (1920x1080) @30fps * フレームレートはWi-Fi ストリーミング中に変化することもあります。
画質	最高（エクストリーム）/最高/高/一般
動画圧縮形式	MP4
Wi-Fi	内蔵 (802.11n (2.4 ～ 2.4835 GHz))
GPS	内蔵
マイク	内蔵
スピーカー	内蔵
LED インジケーター	フロント：録画LED、GPS LED、LTE/Wi-Fi LED、フロントセキュリティLED リア：リアセキュリティLED
センサー	3軸加速度センサー

ボタン	**フォーマットボタン：** 5 秒間長押しして音声案内が流れたら、ボタンから手を離してください。続いてもう一度5 秒以上長押しすると、microSD カードをフォーマットします。 **Wi-Fiボタン：** 1回押して音声案内が流れてWi-Fiがオン/オフします。 **近接センサー：** ファームウェアの設定によって、近接センサーをタッチすると録音をオン/オフにするか、マニュアル録画を開始するかを選択できます。
バックアップバッテリー	内蔵スーパーキャパシター
入力電源	DC 12V～24V (DC Plug：⊖◉⊕ (Ø3.5 x Ø1.35)、MAX 1A/12V)
消費電力	平均410 mA (12 Vで4.92W、GPSとWi-Fi がオンの時) 平均320 mA (12 Vで3.84 W、GPSとWi-Fi がオフの時) 平均450 mA (12 Vで5.4 W、GPSとLTEがオンの時) 実際の消費電力は使用条件や環境によって異なります。 DR750-2CH LTEシリーズはLPSを満足する回路でのみご利用ください。 （最大消費電力が8 Aまたは、100 VA以下。）
動作温度	-20°C～70°C (-4°F～158°F)
保存温度	-20°C～70°C (-4°F～158°F)
高温電源遮断	約 80℃ (176 °F) で自動カットオフ
認証	フロント：RCM、CE、FCC、PTCRB、ISED、Telec、RoHS、WEEE リア：CE、FCC、RoHS、WEEE
PCソフトウェア	BlackVue Viewer * Windows XP以降またはMac OS X Yosemite 10.10以降
アプリケーション	BlackVue アプリケーション (Android 5.0以降、iOS 9.0 以降)
その他	アダプティブフォーマットフリーファイル管理システム

* STARVISはSony Corporationの商標です。

録画時間

ドライブレコーダーは電源につながると、自動的に電源が入って録画を開始します。

メモリ容量	画質	解像度 (フロント + リア)
		Full HD @60+ Full HD@30
16GB	エクストリーム	55 分
	最高	1時間25分
	高	1時間50分
	一般	2時間20分
32GB	エクストリーム	1時間50分
	最高	2時間50分
	高	3時間40分
	一般	4時間40分
64GB	エクストリーム	3時間40分
	最高	5時間40分
	高	7時間20分
	一般	9時間20分
128GB	エクストリーム	7時間20分
	最高	11時間20分
	高	15時間40分
	一般	18時間40分
256GB	エクストリーム	14時間40分
	最高	22時間40分
	高	29時間20分
	一般	37時間20分
ビットレート（Mbps）フロント + リア	エクストリーム	25 + 10
	最高	12 + 10
	高	10 + 8
	一般	8 + 6

注

- microSDカードが一杯になると、新規録画の空き容量を確保するために、まず古いファイルから削除します。
- 録画可能時間は、microSDカードのメモリ容量や動画の画質によって異なります。

BlackVueドライブレコーダーの廃棄

1. 電気製品や電子製品は燃えるごみと区別して国、または地方自治体が指定した専門業者によって回収しなければなりません。お住まいの地域にある廃棄・リサイクル業者の詳細については、お近くの地方自治体にお問合せください。
2. 環境及び人体に危害を及ぼすことのないよう、BlackVueドライブレコーダーの適切な廃棄処理にご協力をお願いいたします。
3. BlackVueドライブレコーダーの廃棄に関する詳細情報については役所および廃棄専門業者、またはお買い上げの販売店にお問合せください。

カスタマーサポート

カスタマーサポートやファームウェアのアップデートについては、**www.blackvue.com**をご覧ください。

または、カスタマーサポートセンター（**cs@pittasoft.com**）にお問い合わせください

修理を依頼する前に

修理を依頼する前に、重要なファイルやデータをすべてバックアップしてください。ドライブレコーダーの修理を行なう前に、ドライブレコーダーのファイルやデータをすべて削除しなければならない場合があります。修理を依頼する前にユーザーが必要なファイルをすべてバックアップしたことを前提に、修理が行なわれます。上記にしたがって、Pittasoft Co., Ltd.ではバックアップされなかった動画ファイルの消失について、一切責任を負いません。

著作権と商標

- 本取扱説明書は著作権法の対象であり、その権利はすべて、法律によって保護されています。
- 本取扱説明書を無断で複製、コピー、変更、翻訳することは禁止されています。

BLACKVUE BlackVueはPittasoft Co., Ltd.の登録商標です。Pittasoft Co., Ltd.では製品の設計、商標、製品販売促進動画など、BlackVueブランドに関連する全著作物の権利をすべて保有します。無断で関連著作物を複製、コピー、変更、使用することは禁止されています。違反した場合、該当する規則に従って罰せられることがあります。

208-200018
108-190011

FCC ID: YCK-DR750-2CHLTE / HVIN: DR750-2CH LTE / IC ID: 23402-DR7502CHLTE
Contains FCC ID: XMR201605EC25A / Contains IC ID: 10224A-201611EC25A

製品	ドライブレコーダー
モデル名	DR750-2CH LTE
製造社	Pittasoft Co., Ltd.
所在地	4F ABN Tower, 331, Pangyo-ro, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea, 13488
カスタマーサポート	cs@pittasoft.com
製品保証	1年間保証

facebook.com/BlackVueOfficial

instagram.com/blackvueofficial

www.blackvue.com

Made in Korea